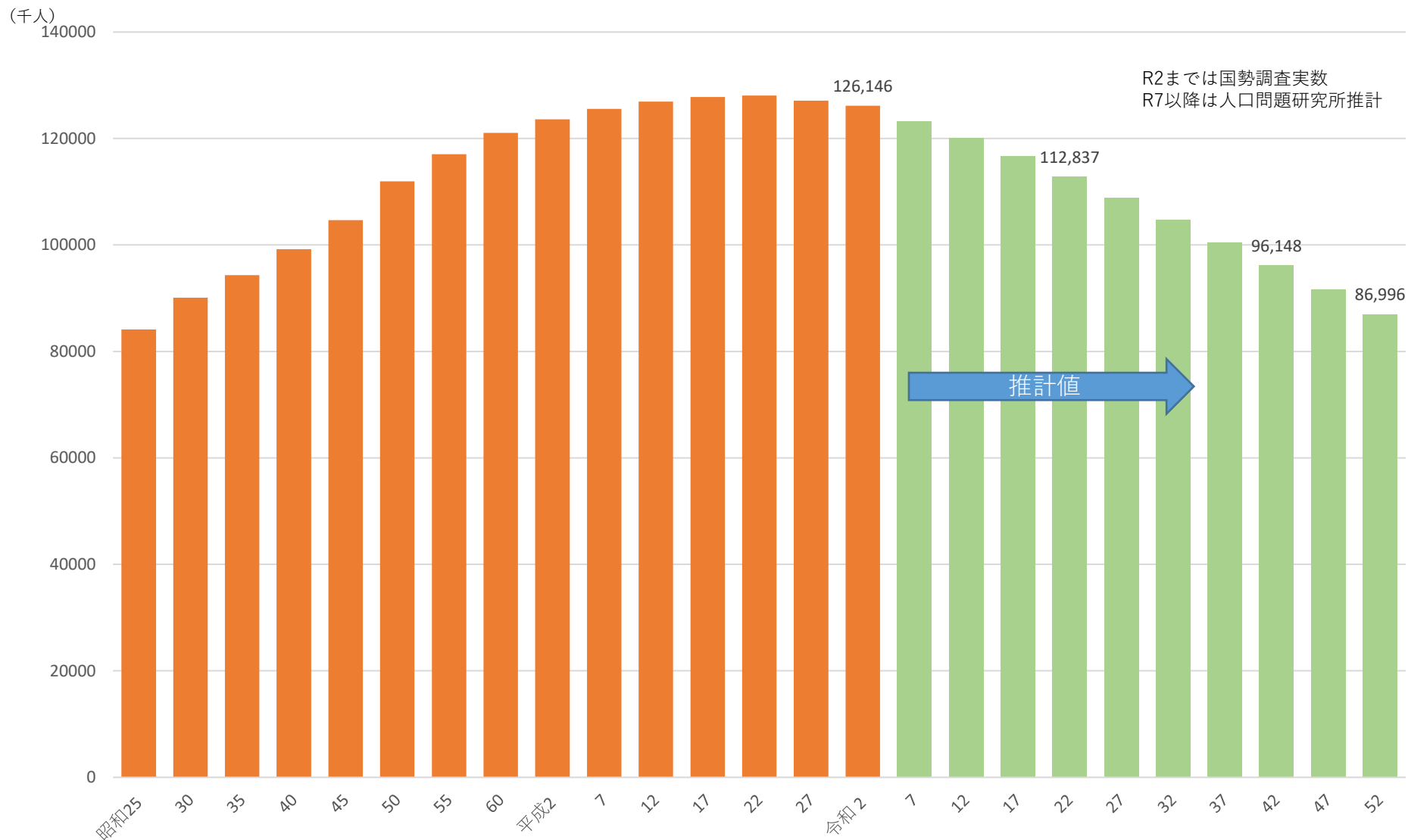


# 短期大学を取り巻く環境

## 全国の人口推計と大学・短大の状況

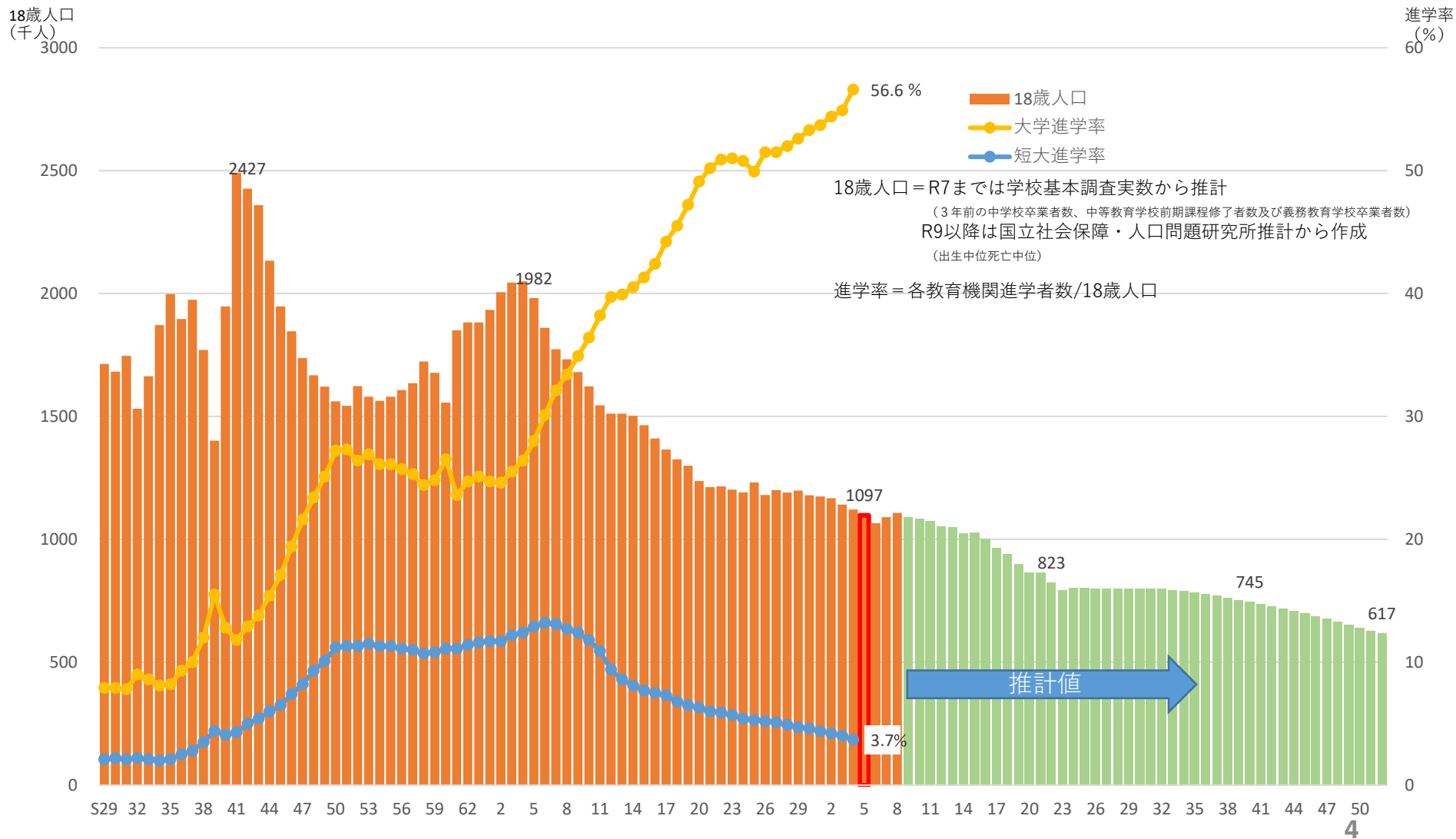
# 人口推計（全国）

令和38年（2056年）には1億人を下回り、令和52年（2070年）には8,700万人と推計



# 18歳人口の推計と大学等進学率

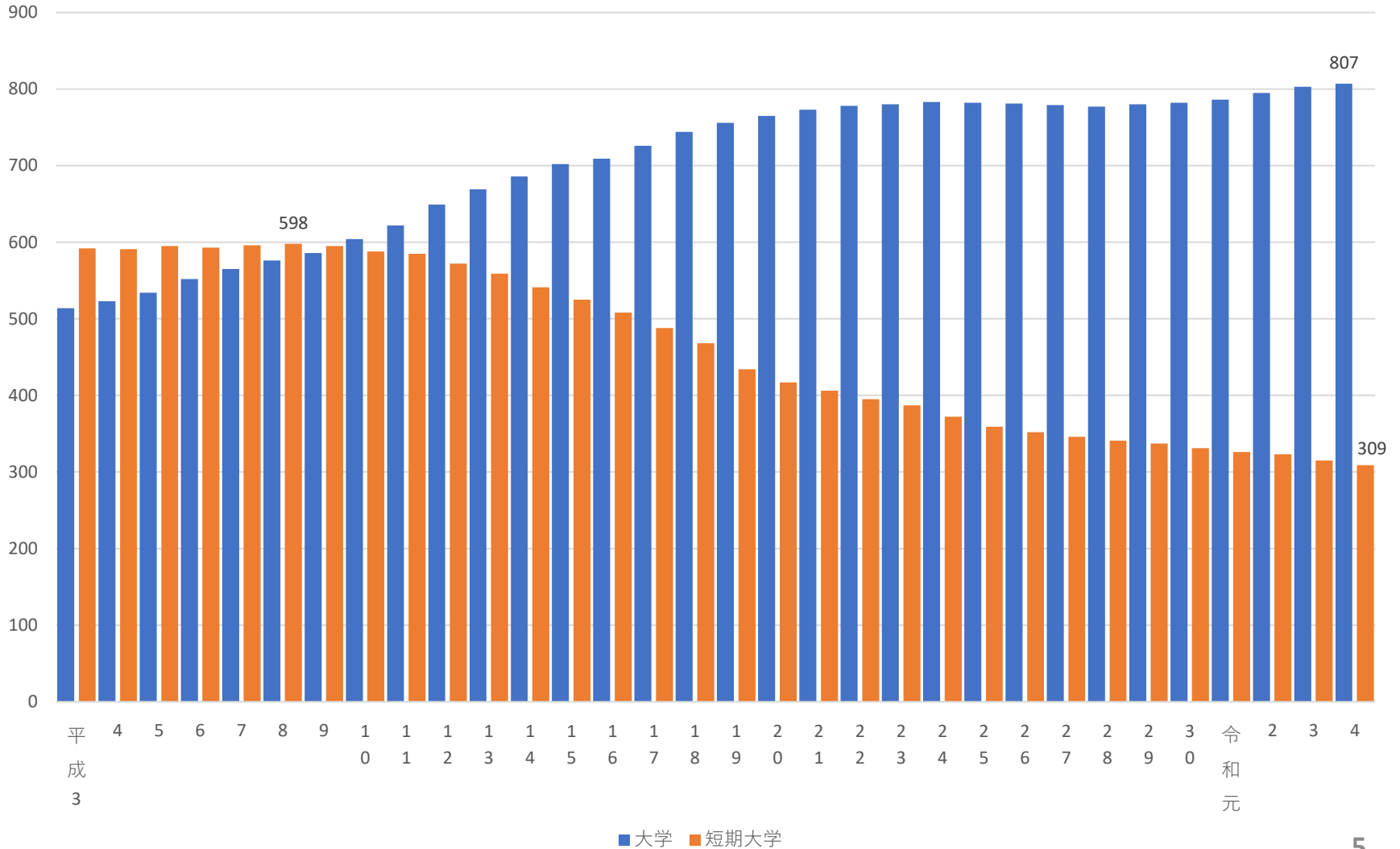
18歳人口は40年後には4割減少の推計  
 大学進学率が上昇してきた半面、短大進学率は減少



# 大学短期大学学校数の推移

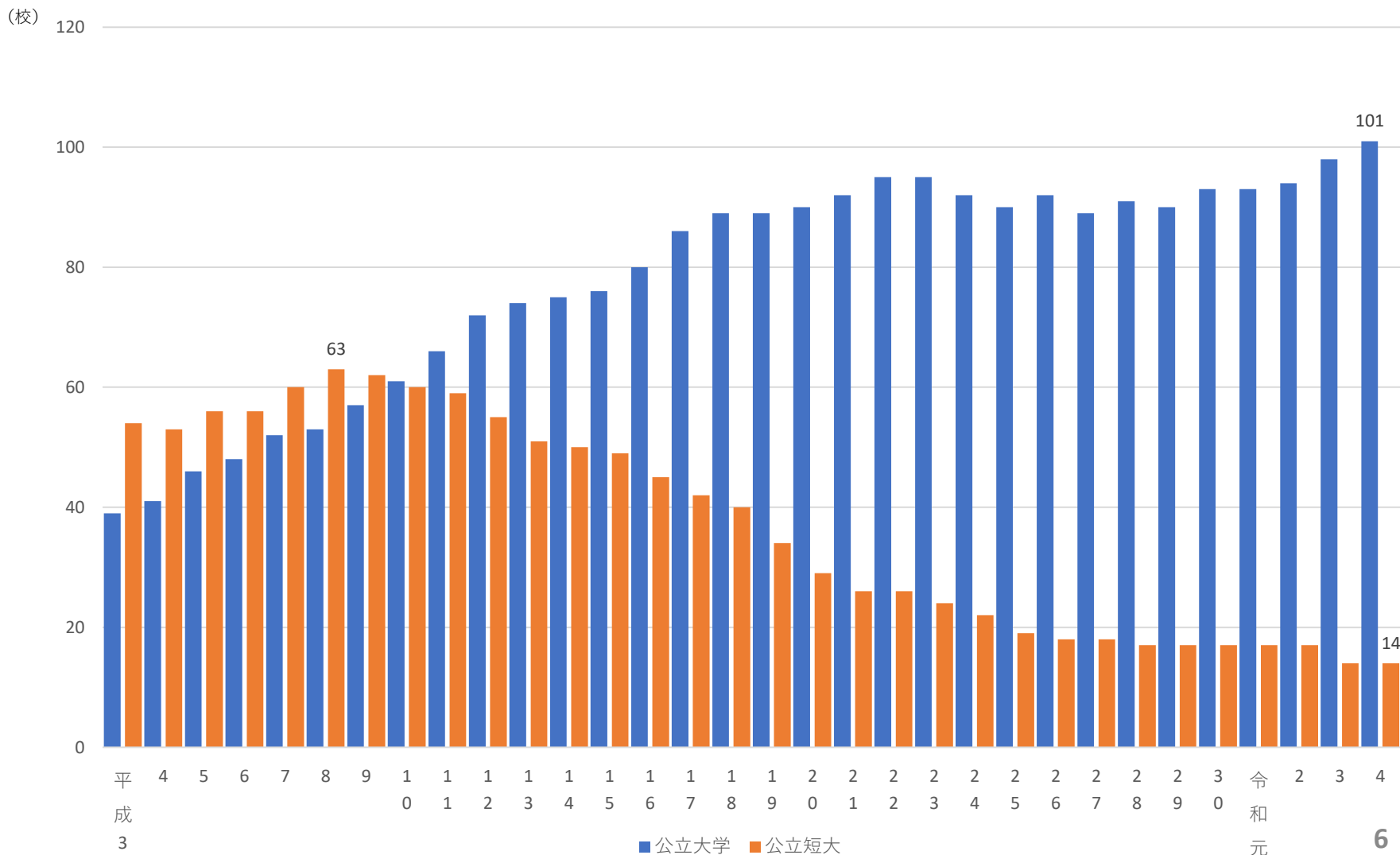
短大と大学の学校数は平成10年に逆転、短大はピークの約半数に

(校)



# 【公立】大学短期大学学校数の推移

公立短期大学の多くが4年制改組や統合により、ピークの4分の1以下に  
4年制大学は私立大学の公立化などもあり増加傾向



# 公立大学の設置状況 (2001~2010)

形態	大学名	設置年	短大・専門学校等改組	公立化	統廃合
改組	新潟県立看護大学	2002	新潟県立看護短期大学		
改組	神奈川県立保健福祉大学	2003	神奈川県立衛生短期大学		
改組・公立化	国際教養大学	2004		(ミネソタ州立大学秋田校(専修学校))	
改組	群馬県立県民健康科学大学	2004	群馬県立医療短期大学		
統合	兵庫県立大学	2004			姫路工業大学、 神戸商科大学、 兵庫県立看護大学
改組	香川県立保健医療大学	2004	香川県立医療短期大学		
改組・統合	東京都立大学	2005	東京都立短期大学		東京都立大学、 東京都立科学技術大学、 東京都立保健科学大学
改組	山梨県立大学	2005	山梨県立女子短期大学		山梨県立看護大学
改組	石川県立大学	2005	石川県農業短期大学		
統合	県立広島大学	2005			県立広島女子大学、 広島県立大学、 広島県立保健福祉大学
改組	名寄市立大学	2006	市立名寄短期大学		
改組	札幌市立大学	2006	札幌市立高等専門学校、 札幌市立高等看護学院		
統合	長崎県立大学	2008			長崎県立大学、 県立長崎シーボルト大学
改組	千葉県立保健医療大学	2009	千葉県立衛生短期大学、 千葉県立医療技術大学校		
改組	新潟県立大学	2009	県立新潟女子短期大学		
統合	愛知県立大学	2009			愛知県立大学、 愛知県立看護大学
公立化	高知工科大学	2009		高知工科大学	
公立化	静岡文化芸術大学	2010		静岡文化芸術大学	
改組	新見公立大学	2010	新見公立短期大学		
公立化	名桜大学	2010		名桜大学	

# 公立大学の設置状況 (2011~2022)

形態	大学名	設置年	短大・専門学校等改組	公立化	統廃合
改組	福山市立大学	2011	福山市立女子短期大学		
公立化	公立鳥取環境大学	2012		鳥取環境大学	
改組	秋田公立美術大学	2013	秋田公立美術工芸短期大学		
改組	山形県立米沢栄養大学	2014	山形県立米沢女子短期大学		
公立化	長岡造形大学	2014		長岡造形大学	
改組	敦賀市立看護大学	2014	敦賀市立看護専門学校		
公立化	福知山市立大学	2016		成美大学	
公立化	山陽小野田市立山口東京理科大学	2016		山口東京理科大学	
公立化	長野大学	2017		長野大学	
改組	長野県立大学	2018	長野県短期大学		
公立化	公立諏訪東京理科大学	2018		諏訪東京理科大学	
改組・公立化	公立小松大学	2018		小松短期大学、 こまつ看護学校	
公立化	公立千歳科学技術大学	2019		千歳科学技術大学	
新設	静岡県立農林環境専門職大学	2020			
新設	三条市立大学	2021			
新設	芸術文化観光専門職大学	2021			
新設	叡啓大学	2021			
改組	川崎市立看護大学	2022	川崎市立看護短期大学		
公立化	周南公立大学	2022		徳山大学	
統合	大阪公立大学	2022			大阪府立大学、 大阪市立大学
公立化	旭川市立大学	2023		旭川大学	



# 県内大学一覽

	大学名	学部	学科	入学定員	
1	国 岐阜大学	教育学部	学校教育教員養成課程	220	
			地域科学部	地域政策学科	50
				地域文化学科	50
		医学部	医学科	110	
				看護学科	80
		工学部	社会基盤工学科	60	
			機械工学科	130	
			化学・生命工学科	150	
			電気電子・情報工学科	170	
		応用生物科学部	応用生命科学課程	80	
			生産環境科学課程	80	
			共同獣医学科	30	
		社会システム経営学環		30	
2	公 岐阜県立看護大学	看護学部	看護学科	80	
3	公 岐阜薬科大学	薬学部	薬学科	120	
4	私 朝日大学	歯学部	歯学科	128	
			経営学部	経営学科	100
		法学部	法学科	80	
		保健医療学部	看護学科	80	
健康スポーツ科学科	120				
5	私 岐阜医療科学大学	保健科学部	臨床検査学科	90	
			放射線技術学科	90	
			看護学部	看護学科	100
		薬学部	薬学科	100	
6	私 岐阜協立大学	経済学部	経済学科	90	
			公共政策学科	40	
		経営学部	情報メディア学科	70	
			スポーツ経営学科	150	
		看護学部	看護学科	80	

	大学名	学部	学科	入学定員
7	私 岐阜女子大学	家政学部	生活科学科(生活科学専攻)	25
			生活科学科(住居学専攻)	25
			健康栄養学科	120
		文化創造学部	文化創造学科(文化創造学科)	60
			文化創造学科(デジタルアーカイブ専攻)	50
			文化創造学科(初等教育学専攻)	50
8	私 岐阜聖徳学園大学	教育学部	学校教育課程	330
		外国語学部	外国語学科	150
		経済情報学部	経済情報学科	150
		看護学部	看護学科	80
9	私 岐阜保健大学	看護学部	看護学科	80
			リハビリテーション学部	理学療法学科
			作業療法学科	30
10	私 中京学院大学	経営学部	経営学科	150
		看護学部	看護学科	80
11	私 中部学院大学	人間福祉学部	人間福祉学科	100
		教育学部	子ども教育学科	80
			看護リハビリテーション学部	理学療法学科
				看護学科
		スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	80
12	私 東海学院大学	健康福祉学部	総合福祉学科	80
			管理栄養学科	80
		人間関係学部	心理学科	120
			子ども発達学科	50

# 県内短期一覽

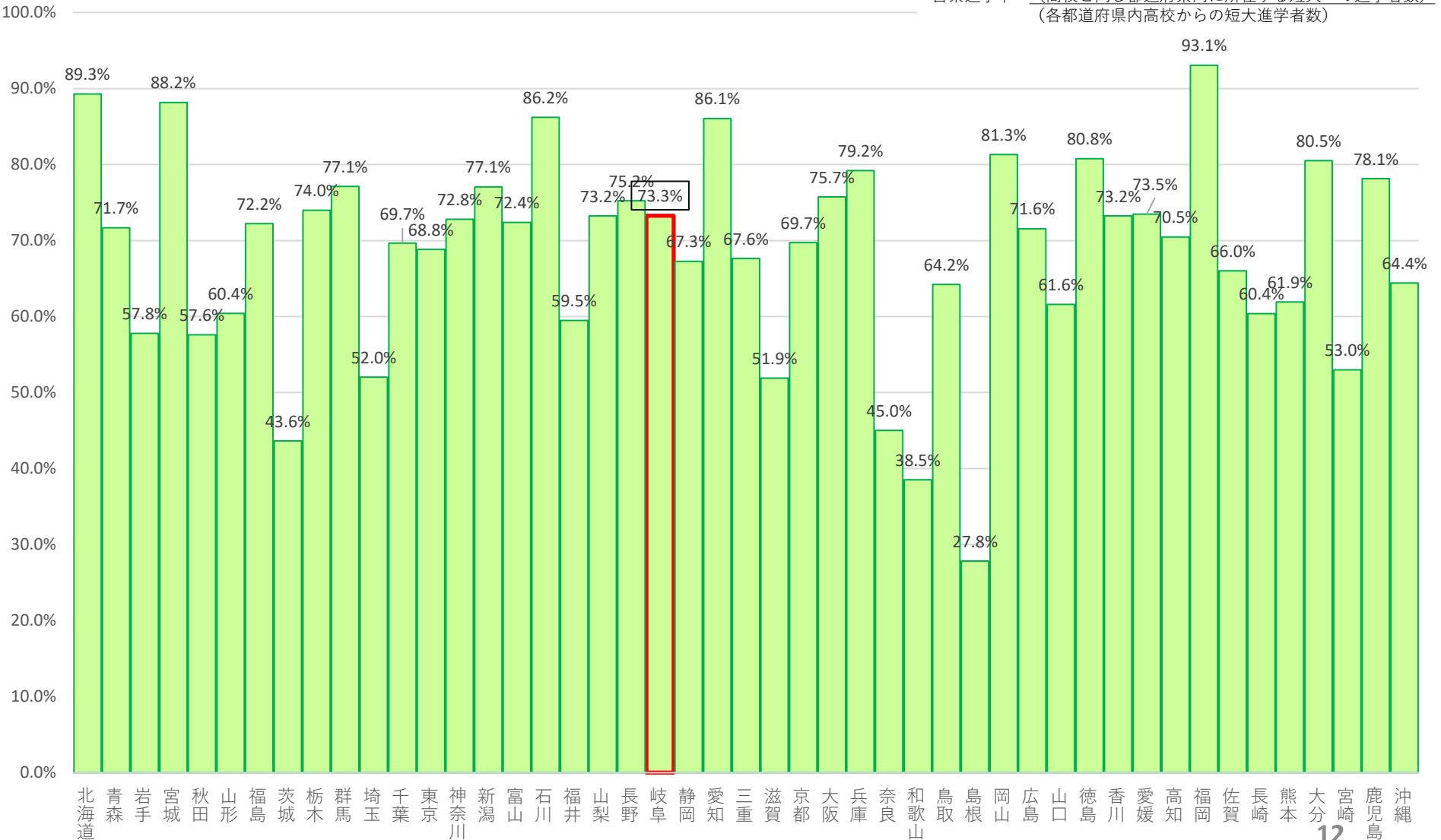
通番	設置別	大学名	学科	入学定員
1		岐阜市立女子短期大学	国際コミュニケーション学科	90
			健康栄養学科	50
			デザイン環境学科	60
2	私	大垣女子短期大学	幼児教育学科	50
			デザイン美術学科	50
			音楽総合学科	50
			歯科衛生学科	50
3	私	岐阜聖徳学園大学短期大学部	幼児教育学科第一部	100
			幼児教育学科第三部	50
4	私	正眼短期大学	禅・人間学科	25
5	私	高山自動車短期大学	自動車工学科	150
6	私	中京学院大学短期大学部	健康栄養学科	70
			保育科	70
7	私	中部学院大学短期大学部	幼児教育学科	100
			社会福祉学科	80
8	私	東海学院大学短期大学部	幼児教育学科	100
9	私	中日本自動車短期大学	自動車工学科	200
			モータースポーツエンジニアリング学科	30
10	私	平成医療短期大学	看護学科	80
			リハビリテーション学科(理学療法専攻)	80
			リハビリテーション学科(作業療法専攻)	40
			リハビリテーション学科(視機能療法専攻)	40

## 進学と人口流出入

# 自県進学率【短大】 (R4)

短大への進学は全体的に自県進学率が高い

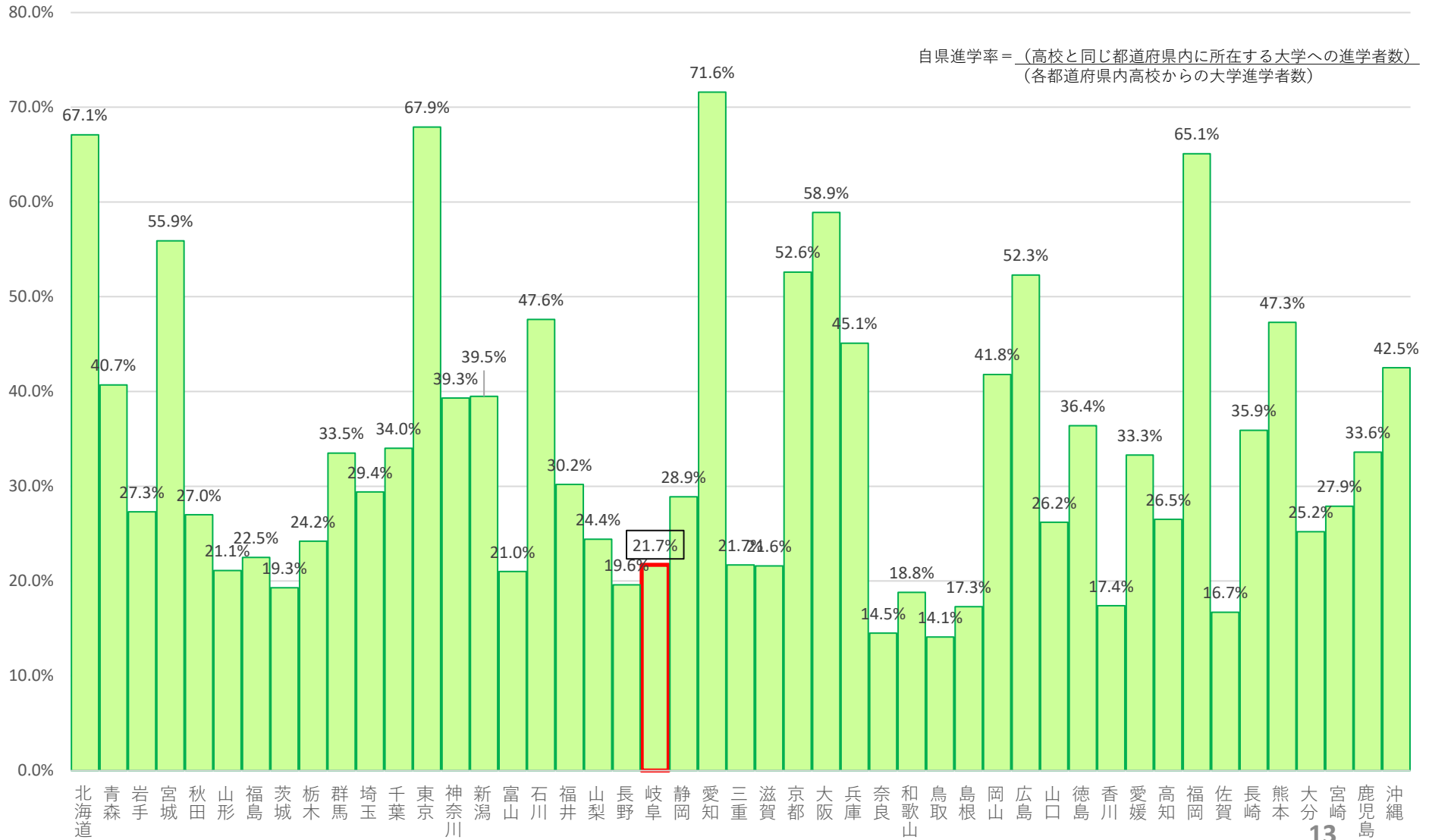
自県進学率 =  $\frac{\text{（高校と同じ都道府県内に所在する短大への進学者数）}}{\text{（各都道府県内高校からの短大進学者数）}}$



# 自県進学率【大学】 (R4)

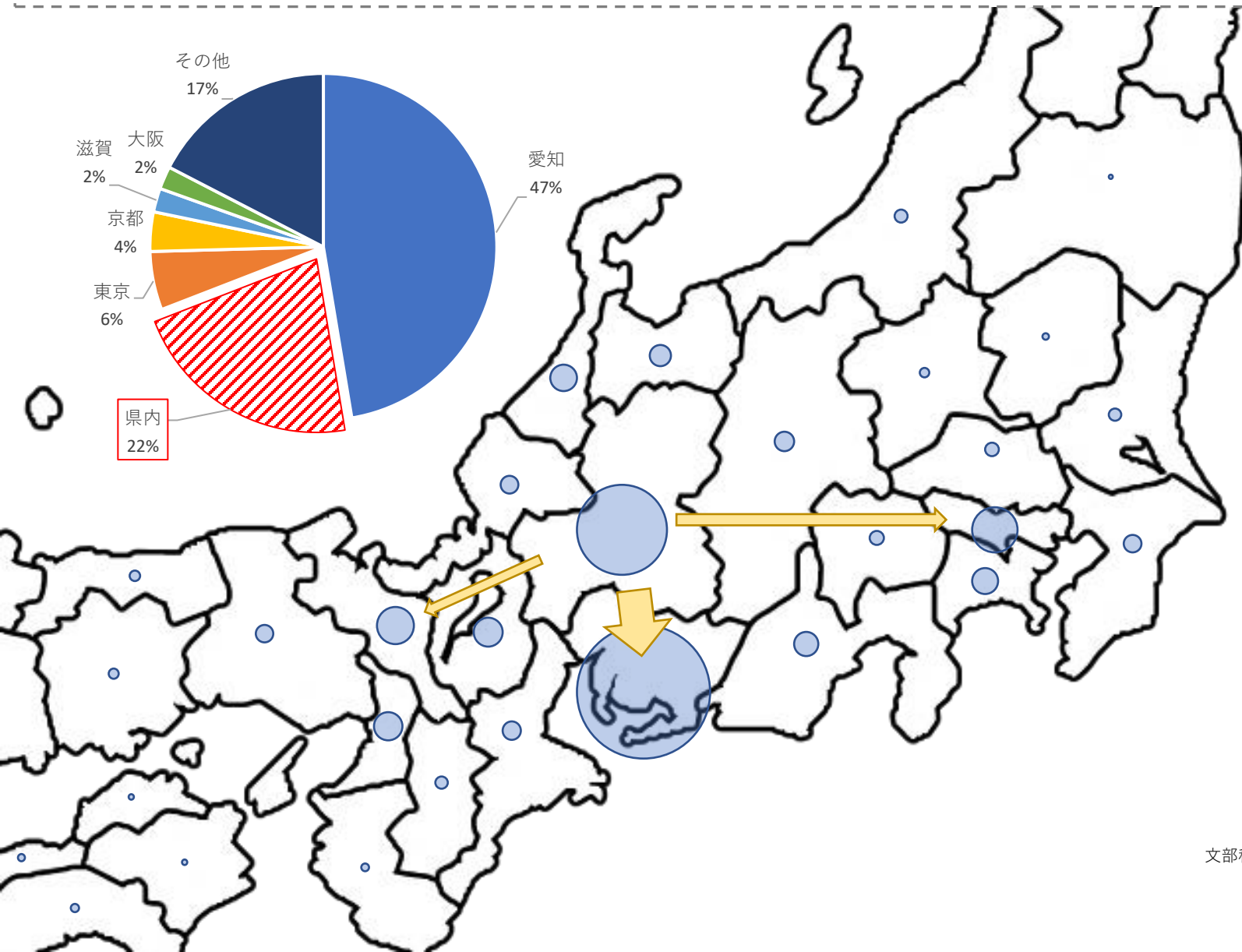
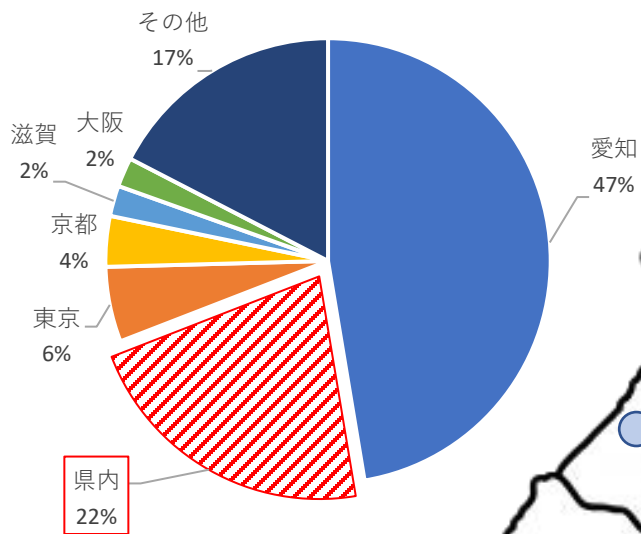
大学への自県進学率は大都市は高いが地方は低い (岐阜県は21.7%で全国35位と低い)

自県進学率 =  $\frac{\text{高校と同じ都道府県内に所在する大学への進学者数}}{\text{各都道府県内高校からの大学進学者数}}$



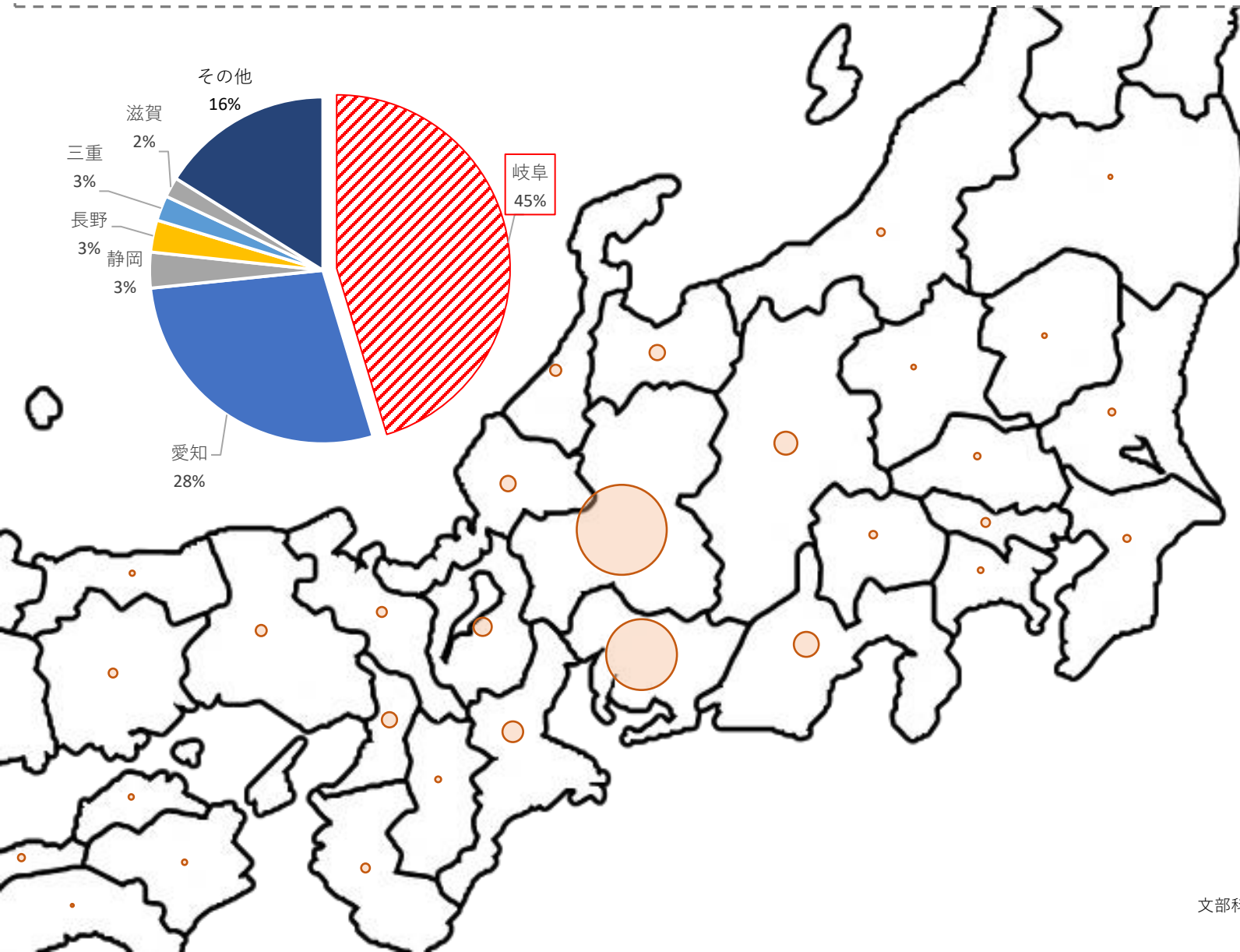
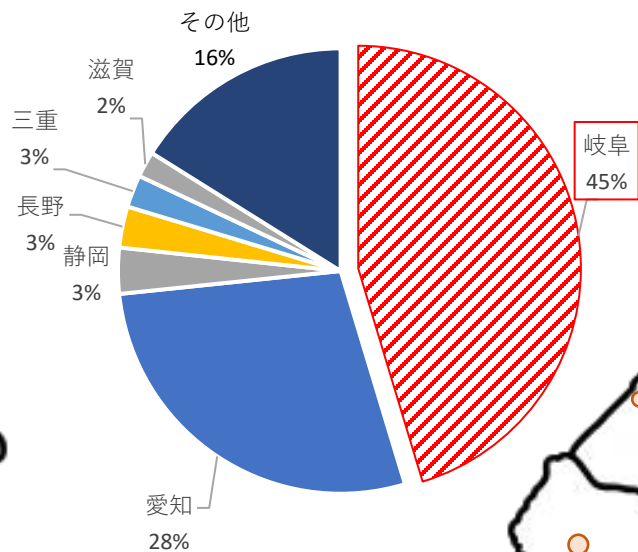
# 岐阜県内高校出身者の大学進学先（都道府県別） (R4)

岐阜県出身の大学進学者の約半数は愛知県へ進学、県内大学には約2割



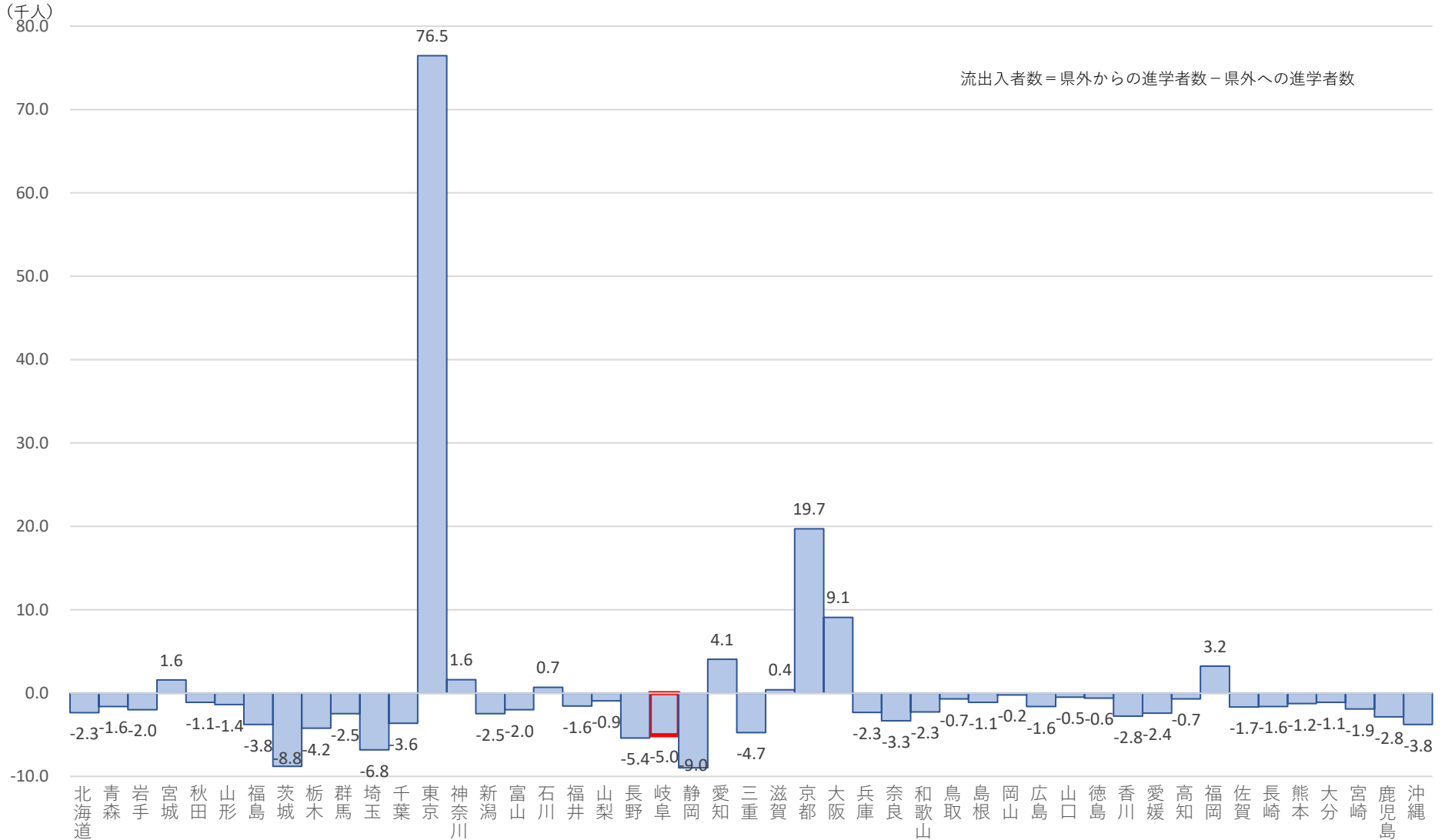
# 岐阜県内大学への入学者の出身地分布（都道府県別）（R4）

岐阜県内の大学への入学者は半数弱は県内出身者



# 大学進学に関する都道府県流出入者数 (R4)

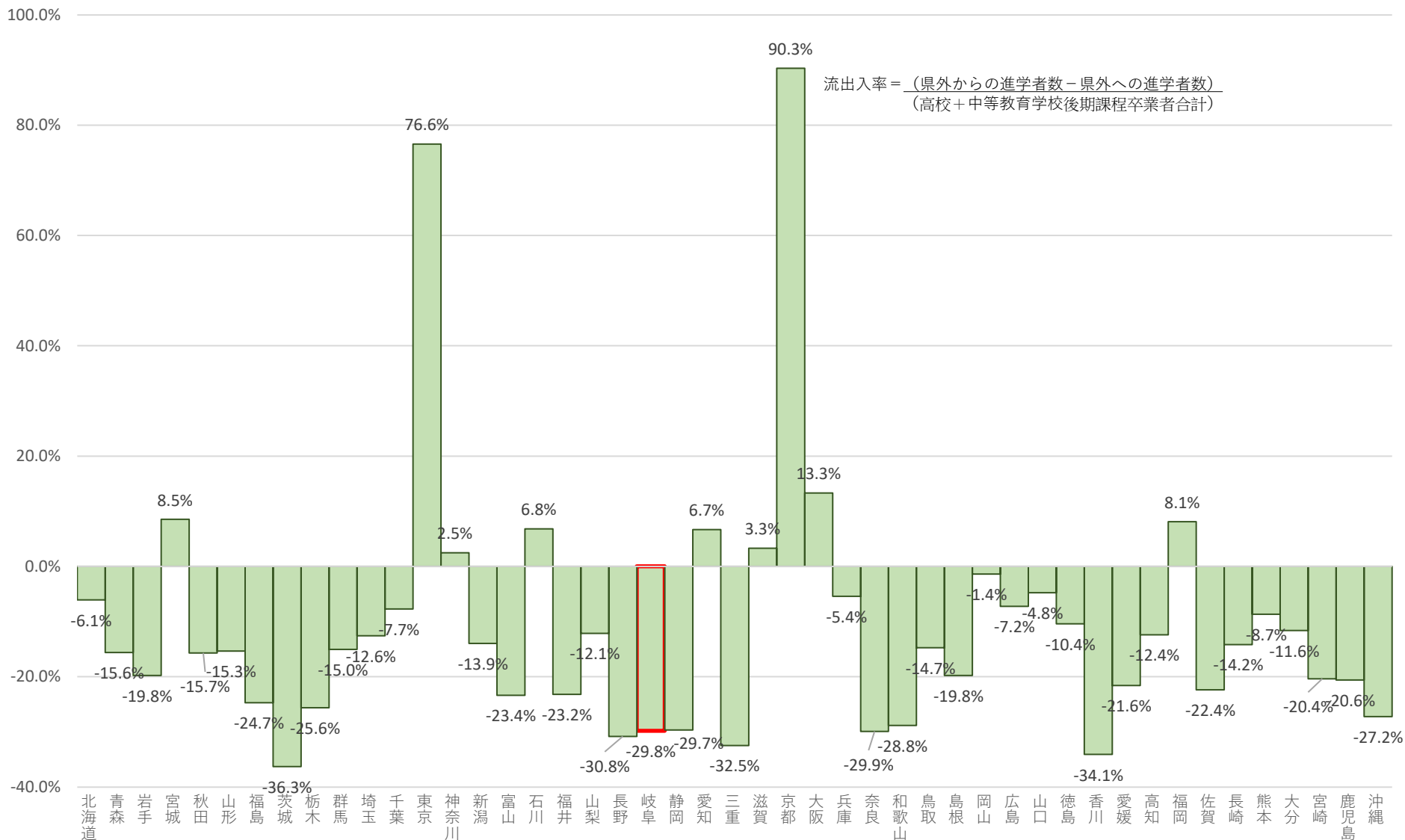
岐阜県では、大学進学で約5000人流出超過





# 大学進学に関する都道府県流出入率 (R4)

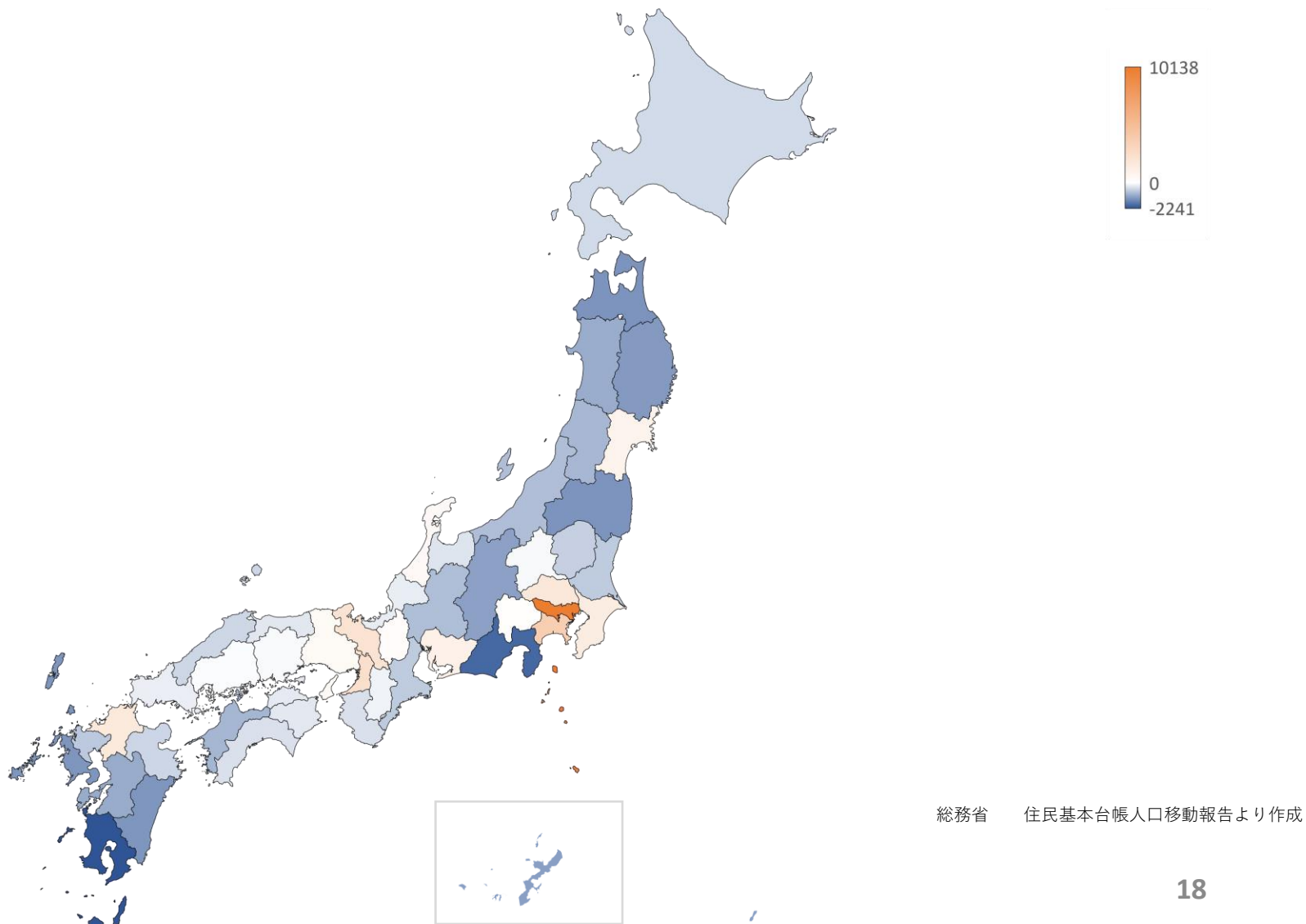
流出率（高校等卒業者に占める割合）は岐阜県は全国6番目に大きい



# 18歳人口の転入転出状況（転入超過数） (R4)

転入転出の実数でも大都市はプラス、地方はマイナスの傾向

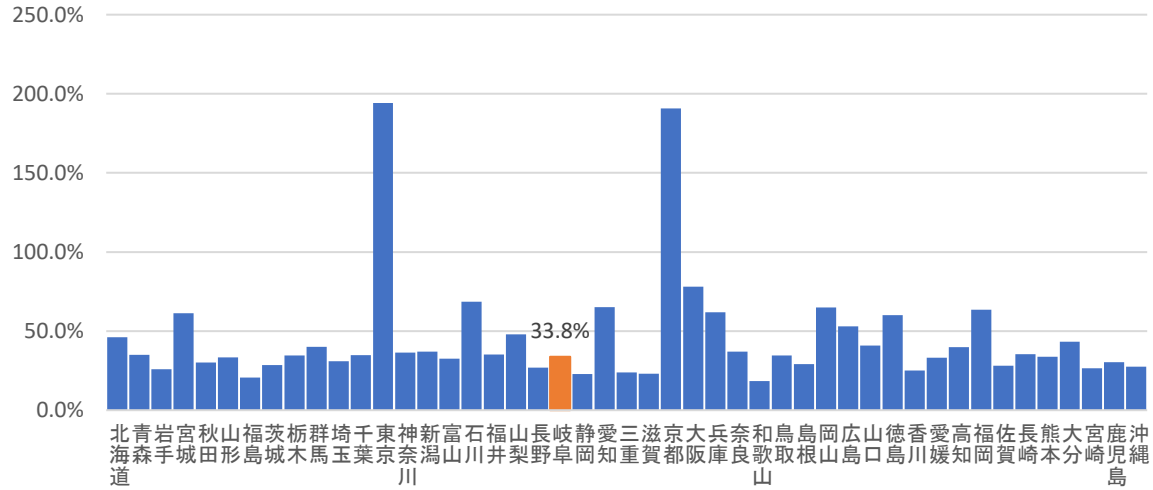
	転出者数 (人)
北海道	-480
青森	-1408
岩手	-1328
宮城	881
秋田	-1076
山形	-935
福島	-1397
茨城	-688
栃木	-619
群馬	-81
埼玉	1823
千葉	1412
東京	10138
神奈川	3774
新潟	-856
富山	-343
石川	440
福井	-241
山梨	76
長野	-1241
岐阜	-847
静岡	-1993
愛知	1090
三重	-692
滋賀	220
京都	2129
大阪	2422
兵庫	420
奈良	-157
和歌山	-399
鳥取	-315
島根	-533
岡山	-64
広島	-41
山口	-218
徳島	-294
香川	-273
愛媛	-954
高知	-399
福岡	1665
佐賀	-715
長崎	-1379
熊本	-1099
大分	-539
宮崎	-1378
鹿児島	-2241
沖縄	-1267



# 18歳人口に対する入学定員数の比率（収容力） R4

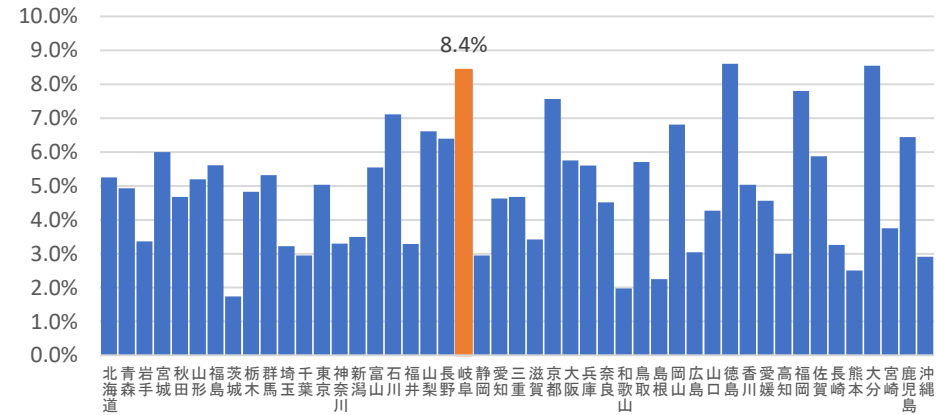
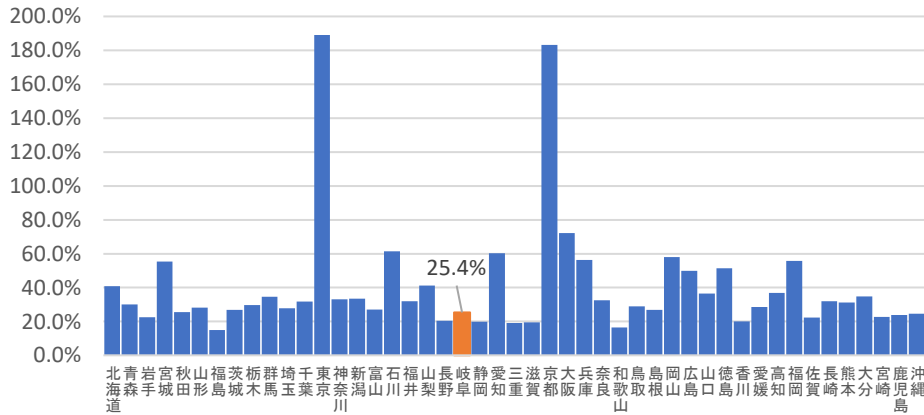
収容力は大学では、東京・京都が突出（岐阜県は低め（全国35位））  
短大では岐阜県は収容力が高い。

大学・短大



大学

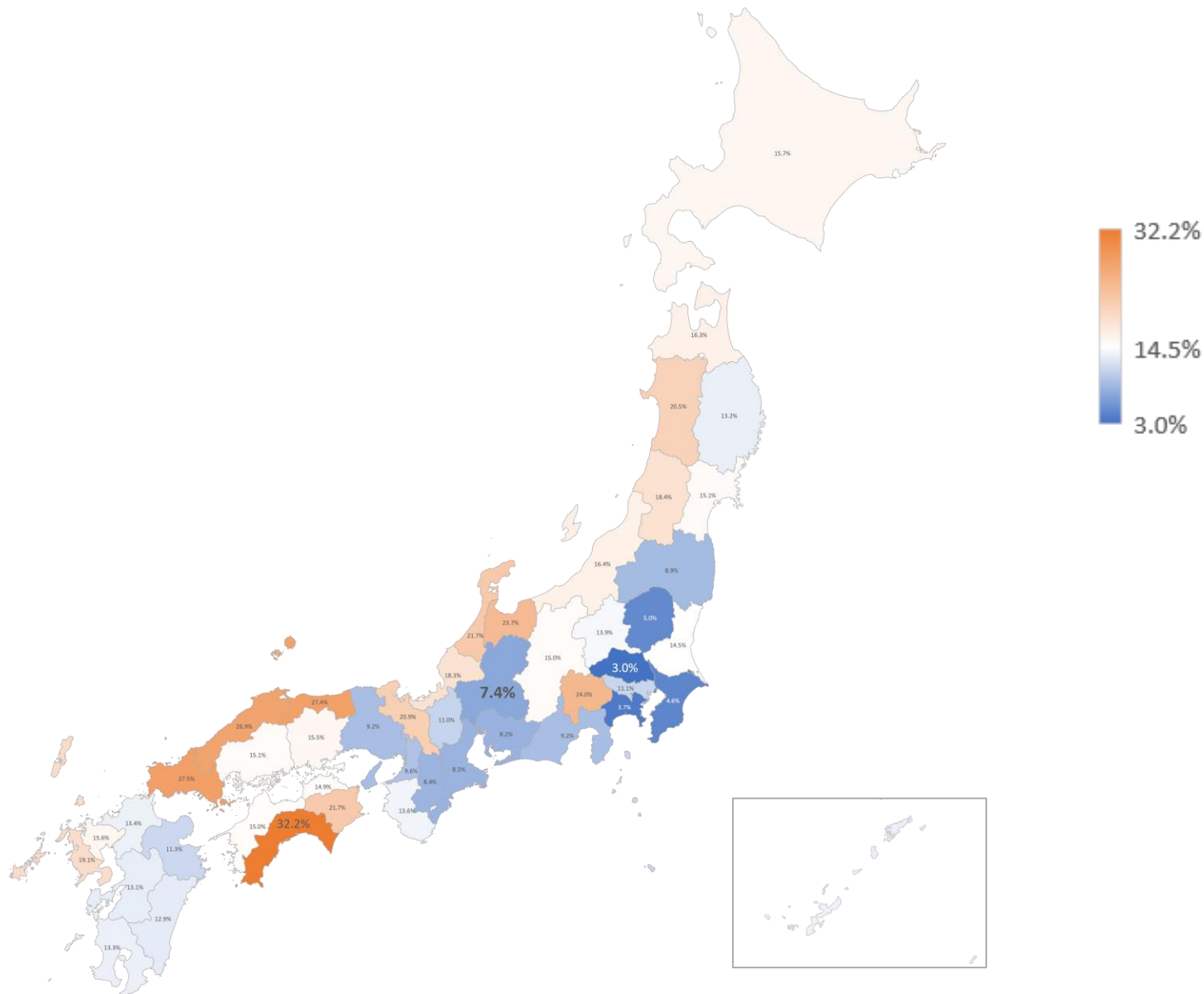
短大



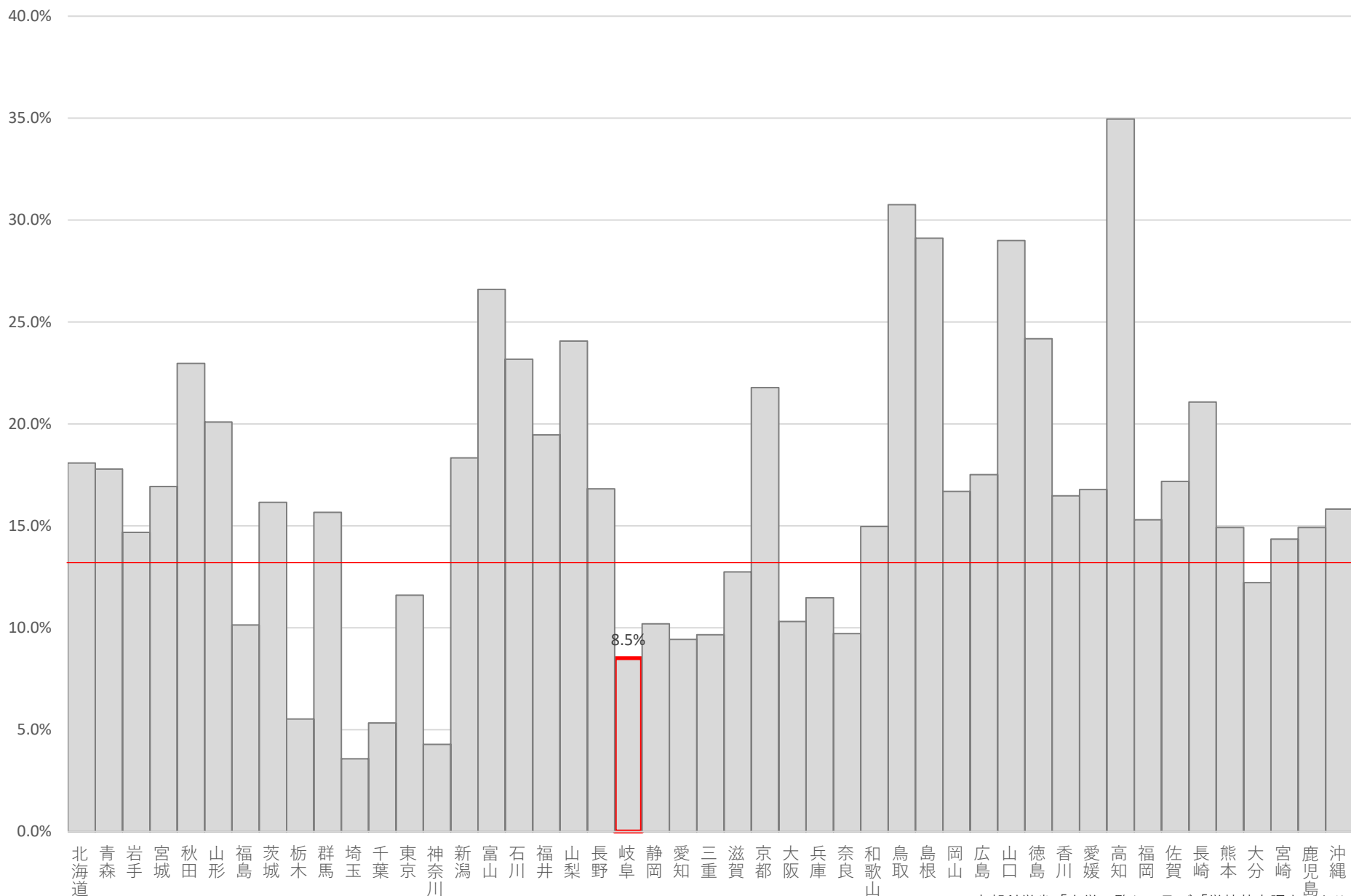
入学定員数は文部科学省「大学一覧」「短期大学一覧」「短期大学に関する統計等」から、18歳人口は「学校基本調査」の3年前の中学校卒業生数等より作成

# 18歳人口に対する【国公立大学】入学定員数比率（収容力） R4

四国、中国、北陸地方等は人口に対して国公立大学の入学定員の比率が高め



# 国公立大学定数（対 高校等卒業者数）

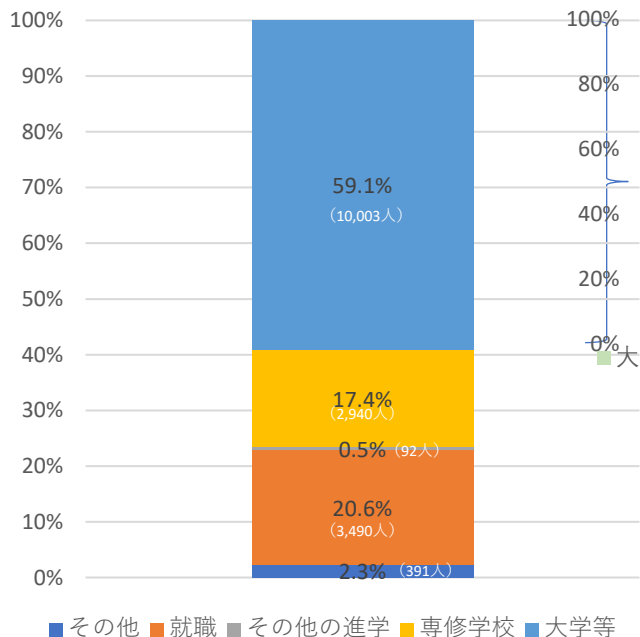


文部科学省「大学一覧」R3及び「学校基本調査」より作成

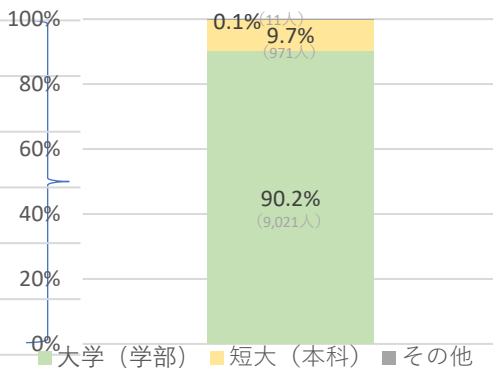
# 岐阜県内高校出身者進学先 (R4. 3)

岐阜県内の高校卒業生もほぼ全国平均と同様6割が大学・短大に進学

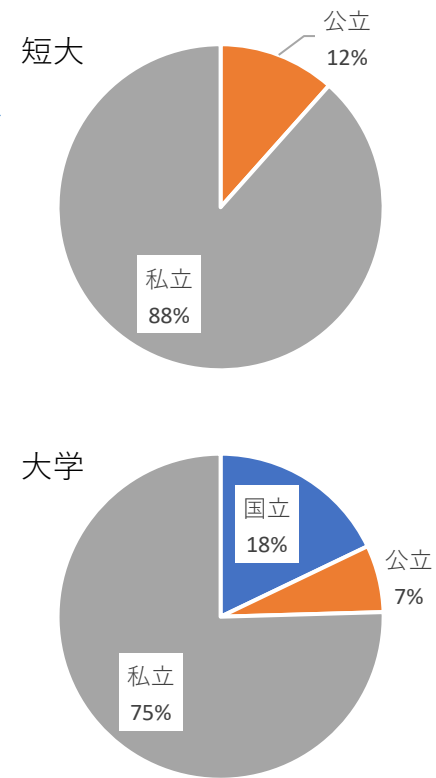
### 高校卒業時の進路



### 「大学等」の内訳



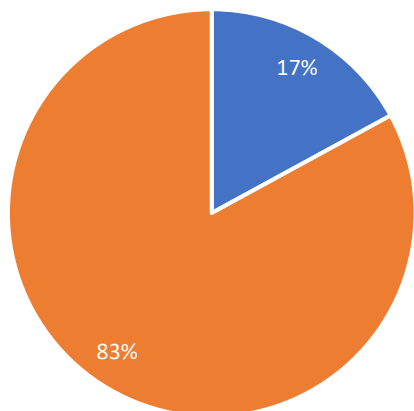
### 大学、短大の設置団体別内訳



# 県内高校（岐女短への志願者数が多い10校）の進路（合格者数）の県内外校割合

岐女短への志願者が多い高校の生徒も4年制大学（県外）への受験が多い  
短大へは県内学校が多い

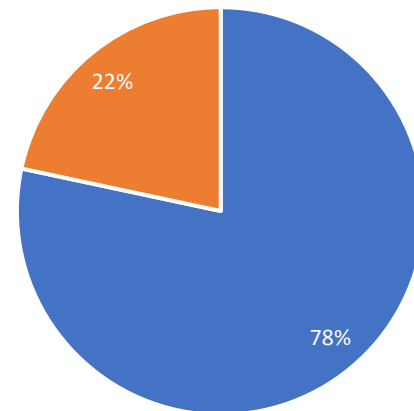
4年制大学合計



N=4995

■ 県内 ■ 県外

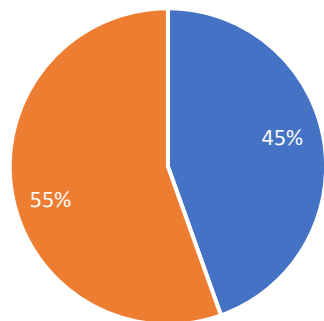
短期大学合計



N=157

■ 県内 ■ 県外

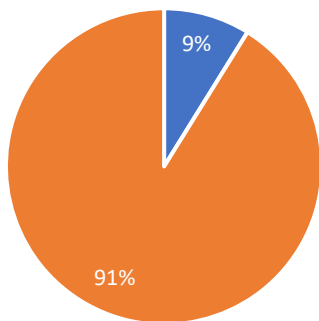
国立大学



N=413

■ 県内 ■ 県外

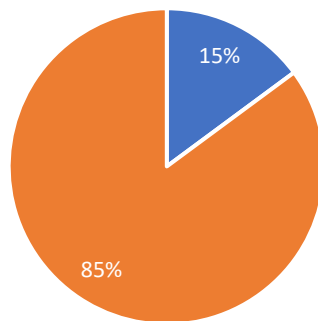
公立大学



N=226

■ 県内 ■ 県外

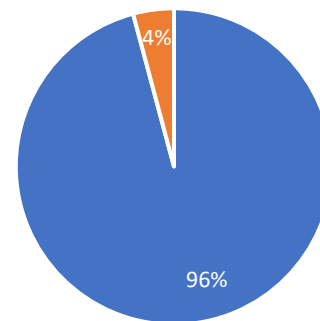
私立大学



N=4356

■ 県内 ■ 県外

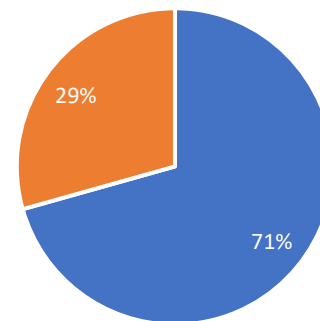
公立短大



N=48

■ 県内 ■ 県外

私立短大

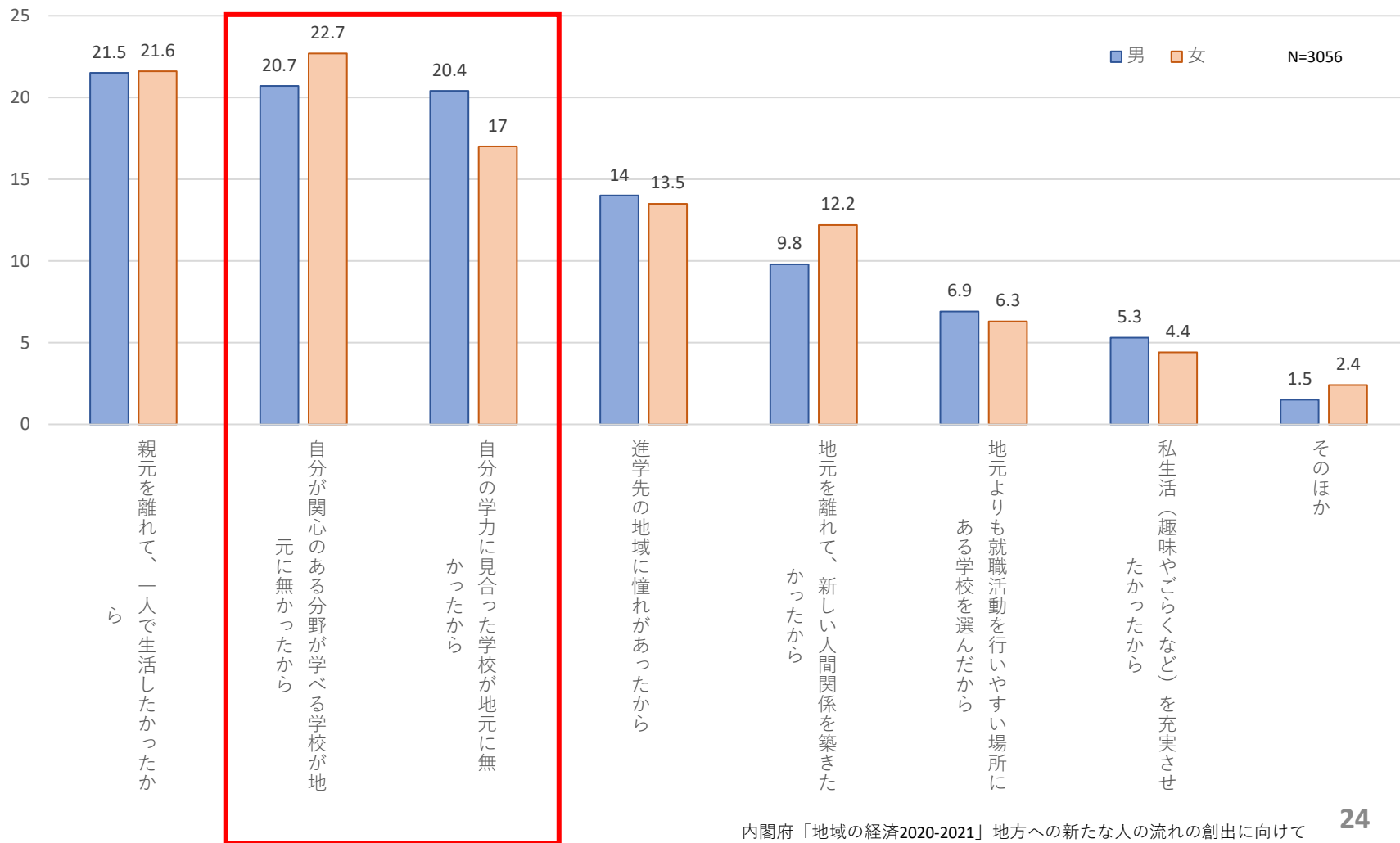


N=109

■ 県内 ■ 県外

# 地元と異なる地域に進学した理由

関心のある分野の大学、学力に見合った大学が地元が無いことが他県への進学理由として大きい

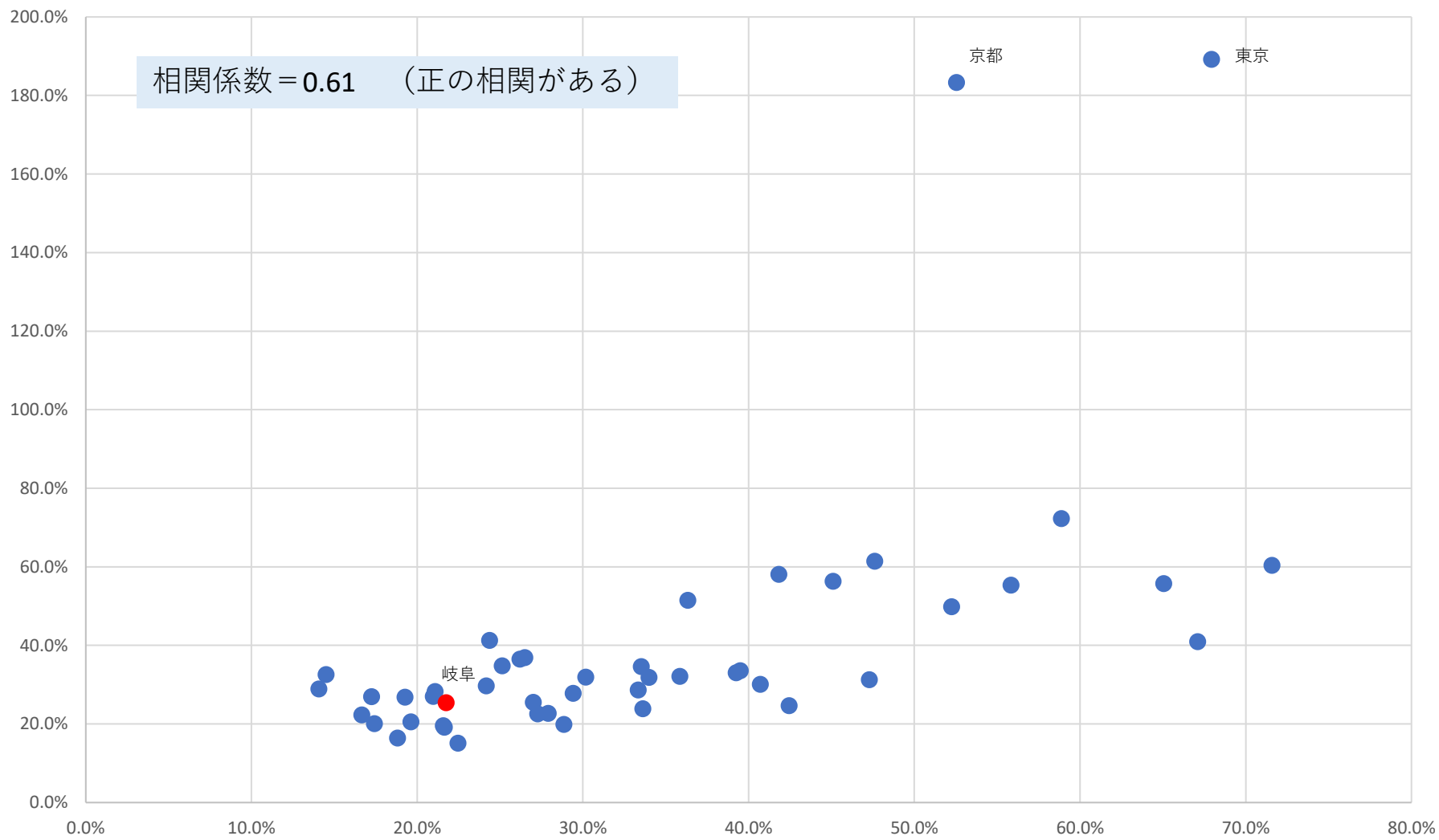




# 大学入学定員収容力と自県進学率の相関 (R4)

大学収容力の高い都道府県の出身者は自県進学率が高い傾向

収容力



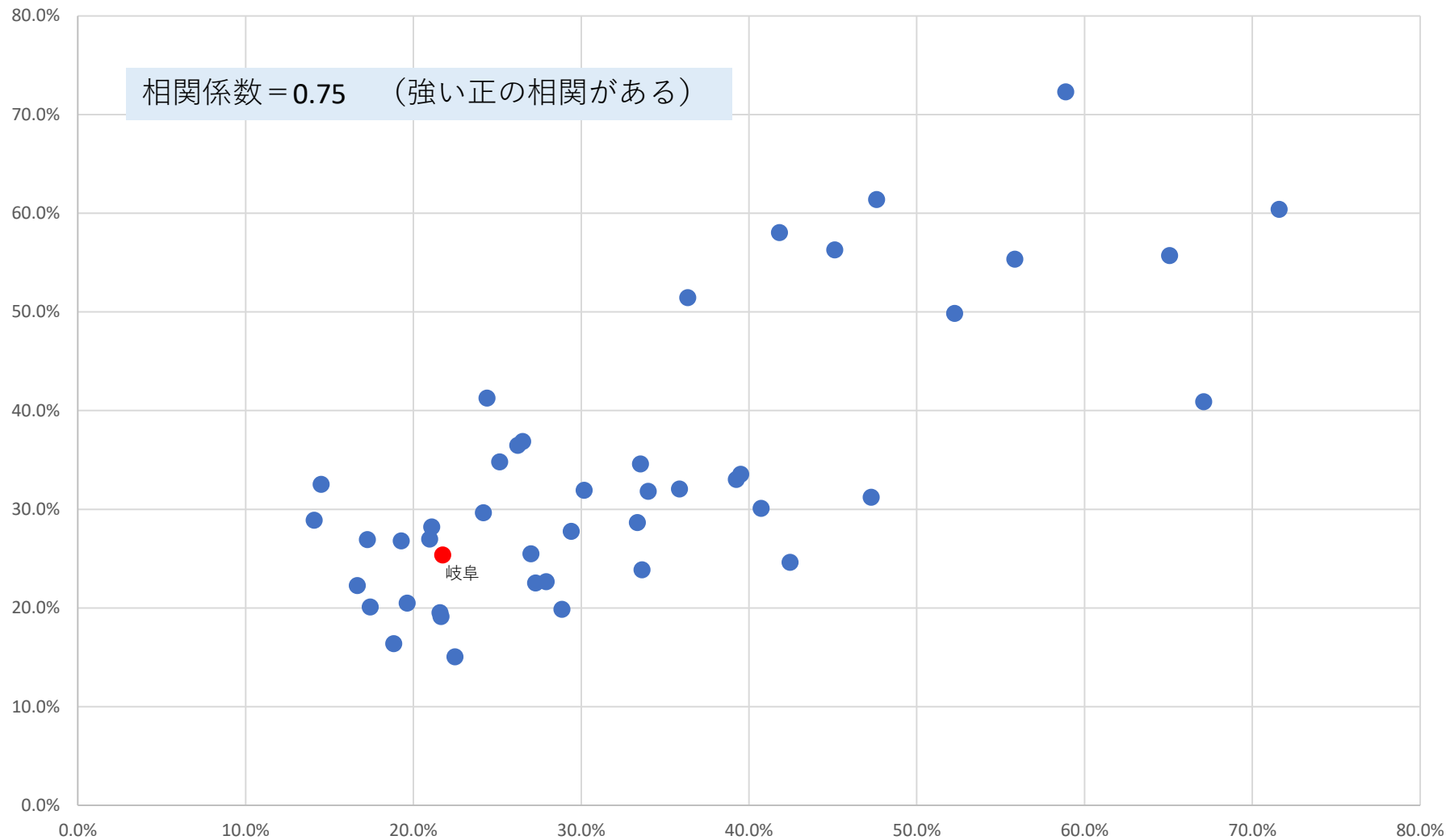
文部科学省「大学一覧」「学校基本調査」より作成

自県進学率

(参考) (突出している東京・京都を除いた場合)

# 大学入学定員収容力と自県進学率の相関 (R4)

収容力



文部科学省「大学一覧」「学校基本調査」より作成

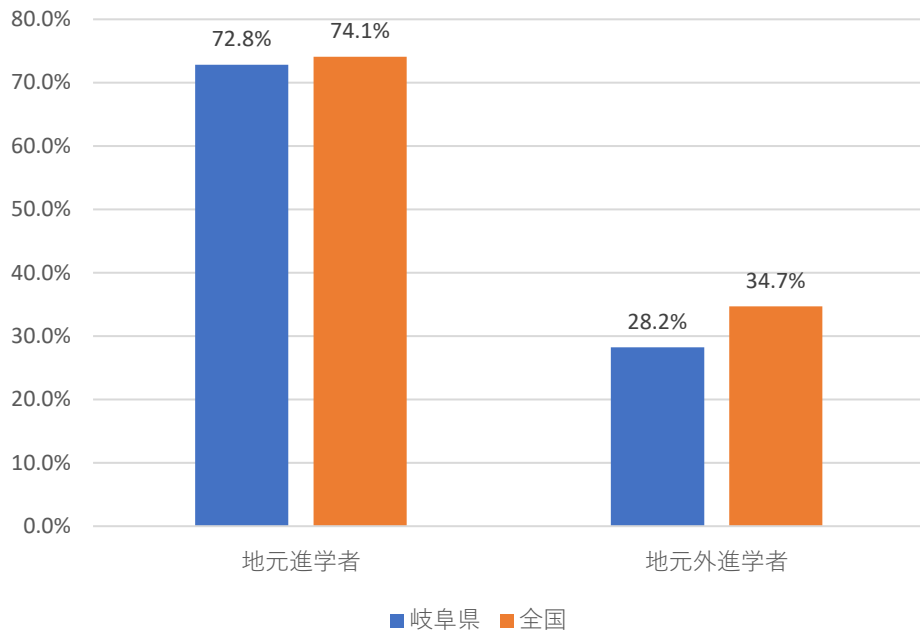
自県進学率

## 労働力人口・就業

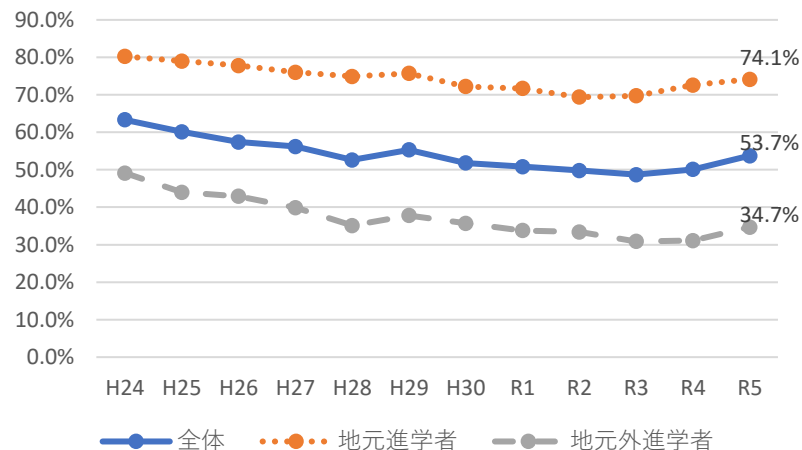
# 地元・地元外進学者の就職希望状況

他県に進学した学生は地元への就職希望が低い（＝地元に進学した学生は地元へ就職希望が高い）

## 最も就職したい都道府県が出身地である割合



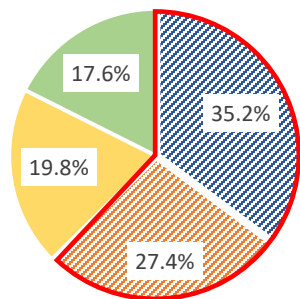
## 全国の経年変化



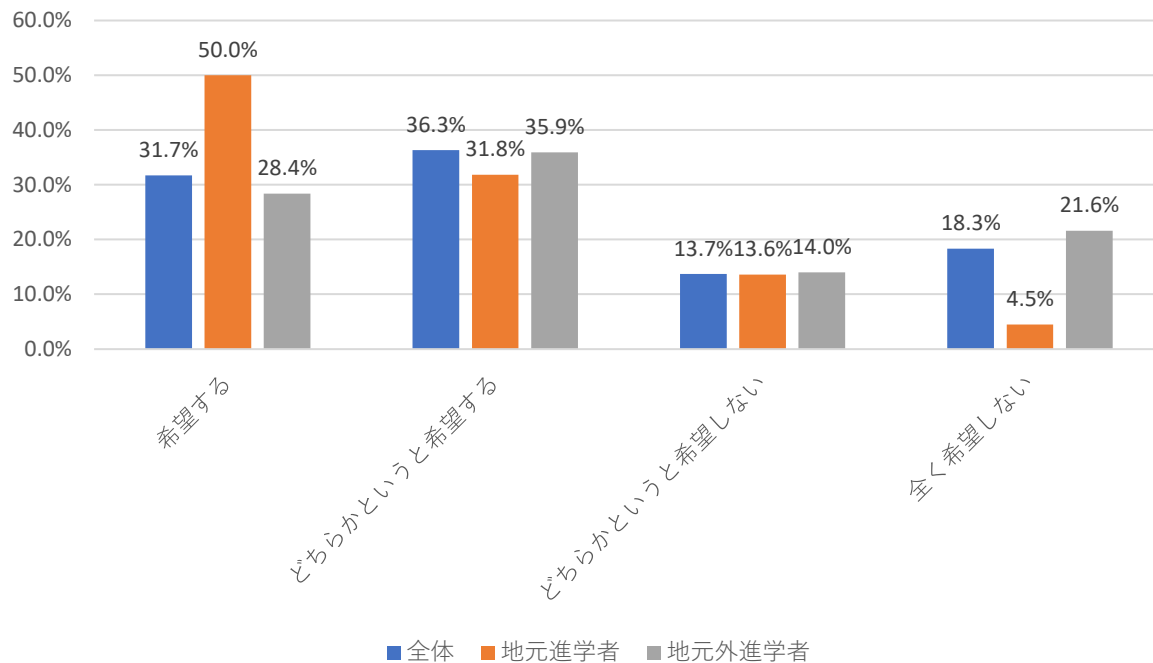
# 地元・地元外進学者の就職希望状況

ある程度、地元就職希望がある場合も、地元への進学者ほど思いが強い

全国の希望状況



岐阜県内高校出身者の地元就職希望状況（内訳）

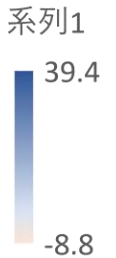
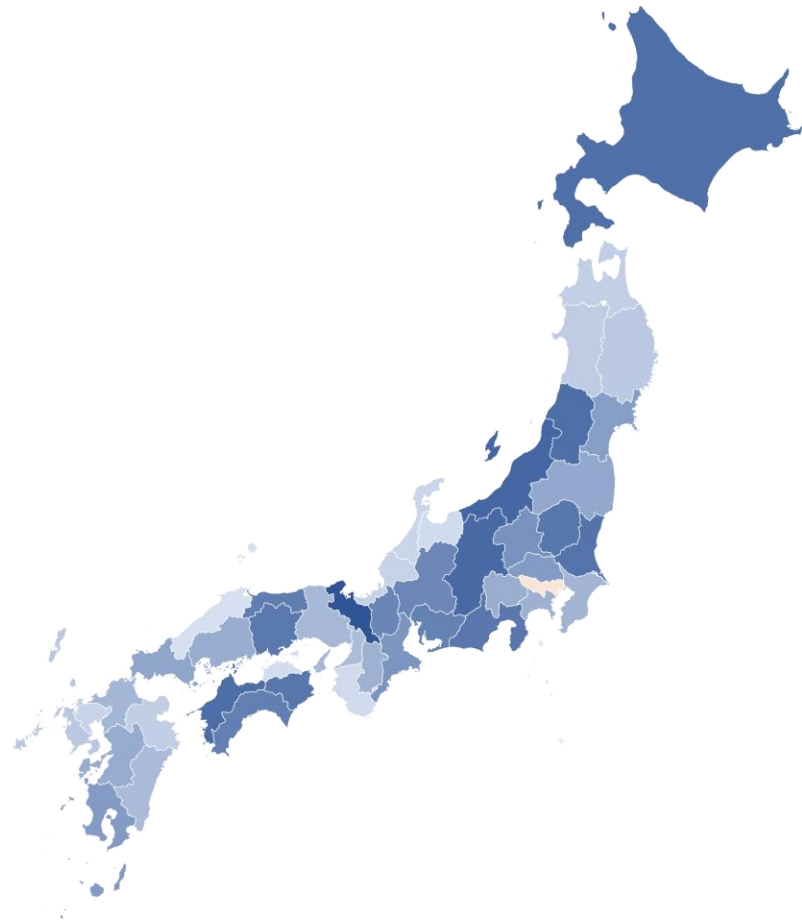


マイナビ2023年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査より作成

# 都道府県別労働供給不足率（2040）

東京以外の都道府県で労働供給不足が顕著に

順位	都道府県名	不足率
1	京都府	39.4
2	新潟県	34.4
3	長野県	33.5
4	愛媛県	32.4
5	山形県	32.1
6	北海道	31.8
7	茨城県	30.8
8	徳島県	30
9	栃木県	29.8
10	静岡県	29.6
11	岡山県	29.5
12	鳥取県	28.1
13	高知県	27.5
14	愛知県	26.9
15	滋賀県	25.8
16	岐阜県	25.4
17	群馬県	22.4
18	三重県	21.5
19	埼玉県	19.8
20	鹿児島県	19.7
5	5	5
45	香川県	1.6
46	島根県	0.9
47	東京都	-8.8

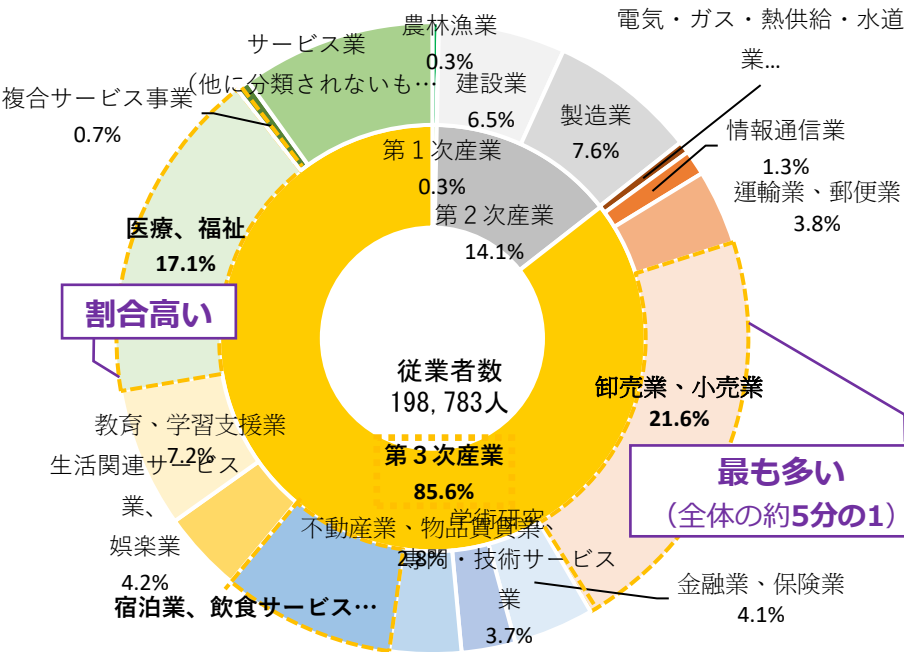


R2国勢調査の産業ごとの都道府県・職業構成比に基づき算出した2040年の需要に対して、H27、R2国勢調査から2040年までの職業構成比の平均変化率を求め、その数値から供給を算出

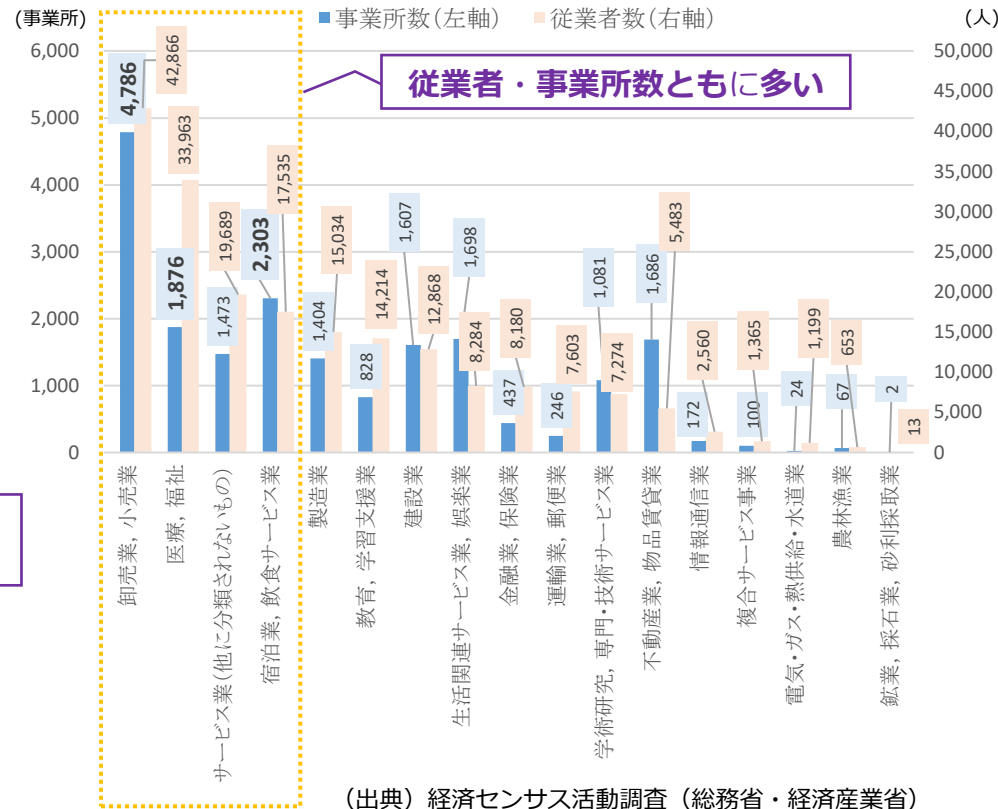
# 岐阜市の産業分類別従業者数の構成比（2021年）

第3次産業（卸売業・小売業）の就業者の割合が高い

① 岐阜市の産業分類別従業者数の構成比（2021年） ※速報値



② 岐阜市の産業分類別従業者数・事業所数（2021年） ※速報値

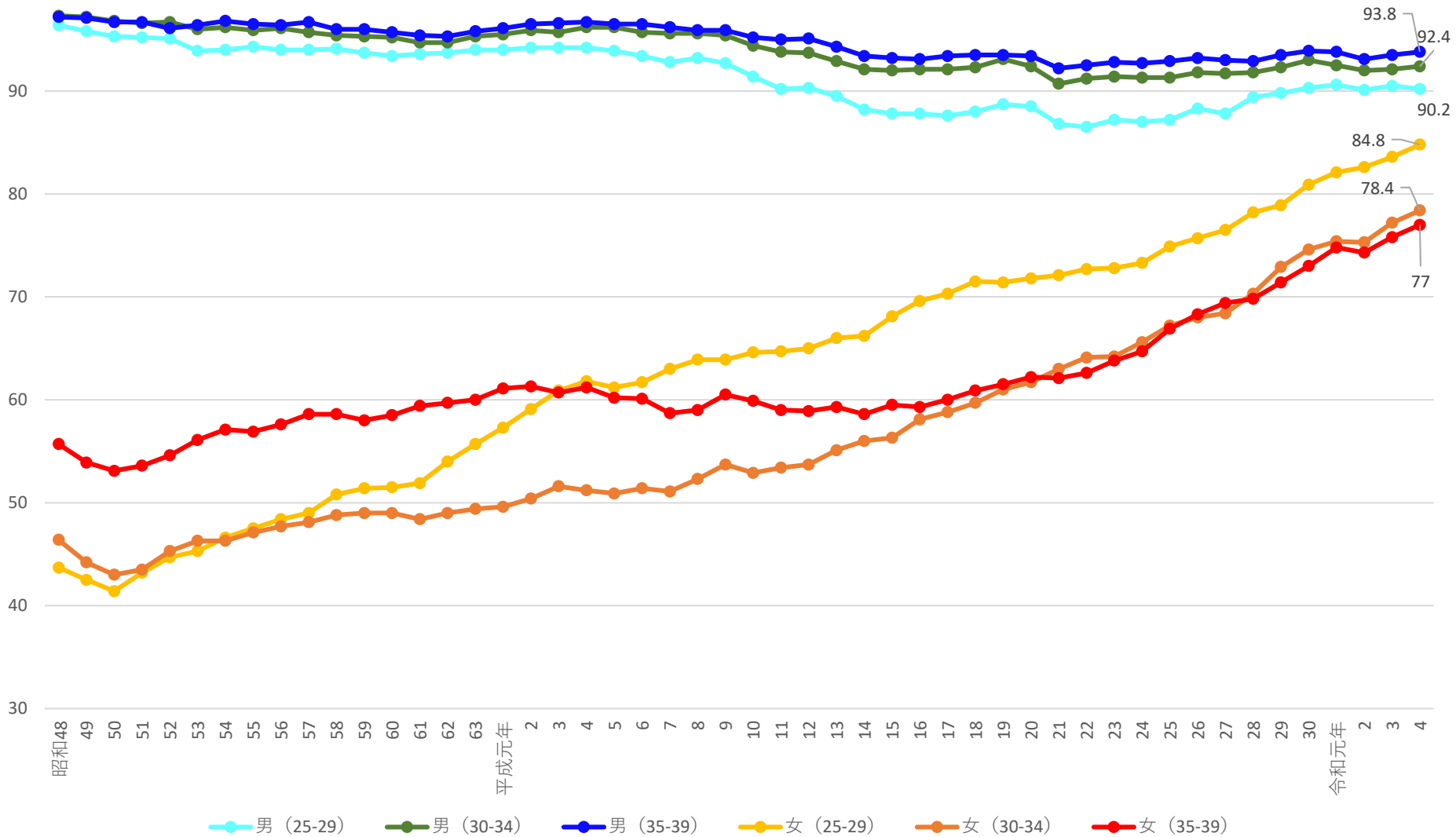


## 女性の社会進出



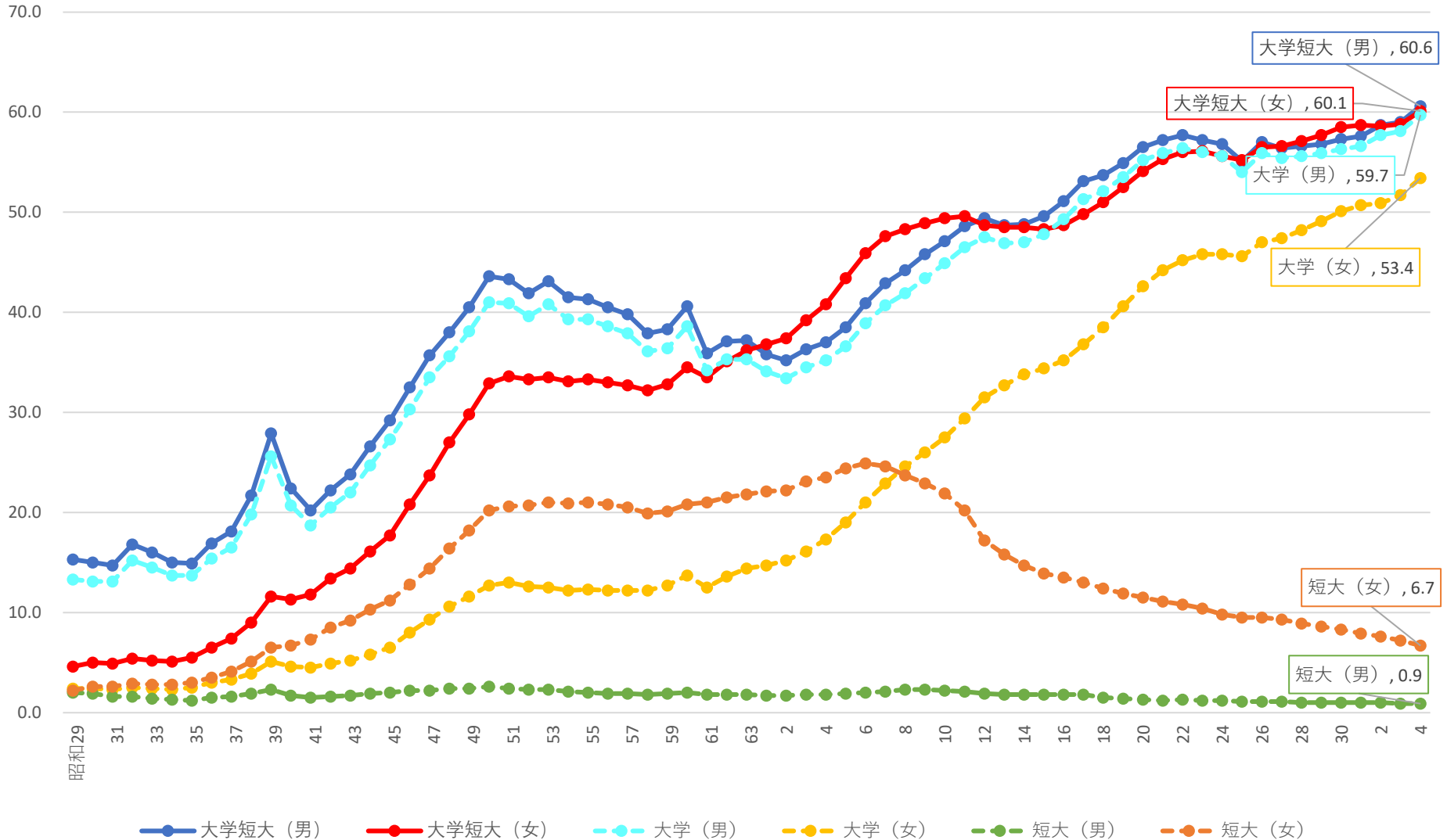
# 男女別就業率の推移 (25~39歳の5歳階級)

女性の就業率は上昇傾向が続く



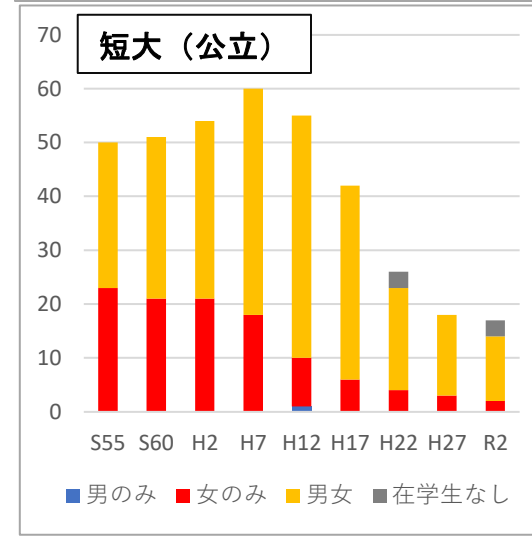
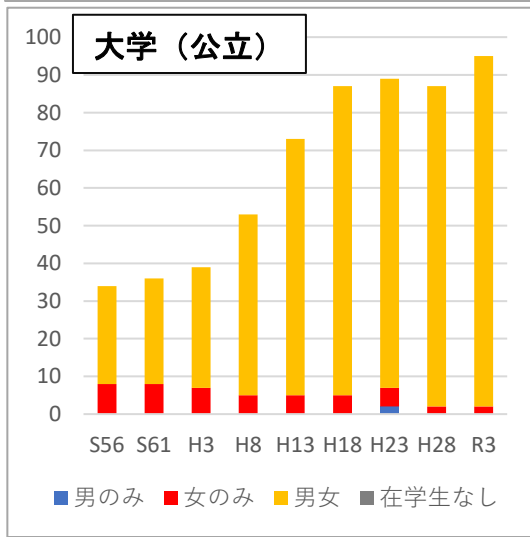
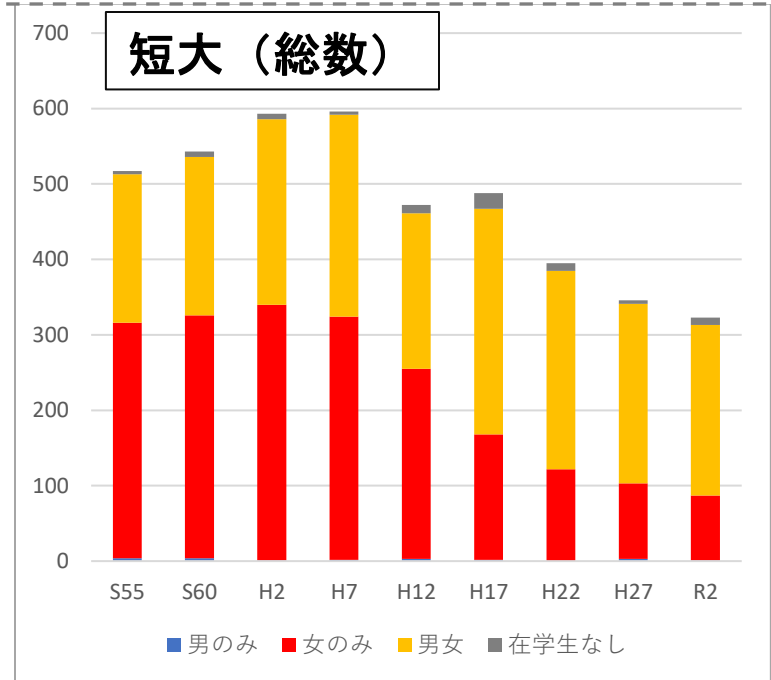
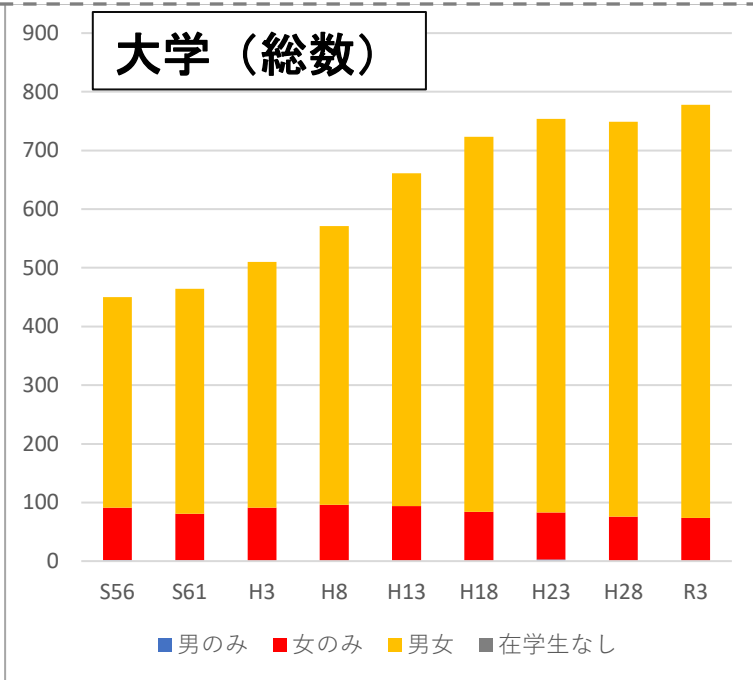
# 男女別大学・短大進学率の推移

男女の大学短大進学率はほぼ差がなくなった一方で、大学だけでは7ポイントの差



# 共学・別学学校数の推移

女子だけの短期大学は特に減少、公立では大学・短大ともに女子だけの2校ずつのみ



文部科学省「学校基本調査」より作成

## 他大学事例

# 公立大学の改革事例

## 4年制化

秋田公立美術  
工芸短期大学

工業美術学科  
産業デザイン学科

4年制化  
2013

秋田公立  
美術大学

美術学部

## 男女共学化 4年制化 【同時】

県立新潟女子  
短期大学

生活科学科  
幼児教育学科  
英文学科  
国際教養学科

共学4年制化  
2009

新潟県立大学

国際地域学部  
人間生活学部

福山市立女子  
短期大学

保育科  
生活学科

共学4年制化  
2011

福山市立大学

教育学部  
都市経営学部

## 男女共学化 4年制化【段階的】

長野県短期大学

文学科  
教養学科  
家政学科  
幼児教育学科

男女共学化  
2004

長野県短期大学

多文化コミュニケー  
ション学科  
生活科学科  
幼児教育学科

4年制化  
2018

長野県立大学

グローバル  
マネジメント学部  
健康発達学部

# 公立大学の改革事例

男女共学化・  
4年制化  
【一部学科のみ】

山形県立米沢女子短期大学

健康栄養学科  
国語国文学科  
英語英文学科  
日本史学科  
社会情報学科

(一部) 共学4年制化

2014

短大存続

山形県立  
米沢栄養大学

健康栄養学部

山形県立米沢  
女子短期大学

国語国文学科  
英語英文学科  
日本史学科  
社会情報学科

島根県立島根  
女子短期大学

健康栄養学科  
保育学科  
文化学科

男女共学化・統合

2007

統合

2007

島根県立看護短  
期大学

看護学科

島根県立大学  
短期大学部

看護学科  
健康栄養学科  
保育学科  
総合文化学科

(一部) 4年制化

2012・2018

(看護) (健康栄養)

短大存続

2000年設立  
島根県立大学

看護栄養学部  
(看護学科、健康栄養学科)

島根県立大学  
短期大学部

保育学科  
総合文化学科